2024年6月発行

ホーチミン日本商工会議所

メコンの風

Mekong no Kaze

2023年度活動報告
2023年4月～2024年3月

表紙の言葉

2023年度は日越外交関係樹立50周年を迎え、日越両国が大きく盛り上がった1年となりました。街中のいたるところに50周年記念のロゴマークが飾られ、たくさんの方が目にされたと思います。JCCHとしても数多くのイベントを開催し、予想を上回る多くの日本人・ベトナム人の方にご参加いただきました。本年度は日本とベトナムの関係性がさらに深まった特別な1年として記憶されることでしょう。

【 発行者 】
ホーチミン日本商工会議所（JCCH）
【 2023年度会頭 】 水嶋 恒三
【 制作 】 JCCH広報委員会
【 デザイン 】 田中 可奈子
【 発行日 】 2024年6月

会頭ご挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
在ホーチミン日本国総領事ご挨拶 ・・・・・・・・・・・・ 3
JETROホーチミン事務所所長ご挨拶 ・・・・・・・・・・・ 3
日越外交関係樹立50周年記念
JCCH魅惑のイベント大集合！ ・・・・・・・・・・・・・・ 4
2023年度 第30回定期総会 ・・・・・・・・・・・・・・・ 13
活動報告
①事業・生活環境の改善 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
②日本人社会への協力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
③ベトナム社会への貢献と交流促進 ・・・・・・・・・・ 21
④学び ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
⑤協力と交流 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
委員会別活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
部会別活動報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
データでみるJCCH ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
JCCHニュースフラッシュ ・・・・・・・・・・・・・・・ 40
事務局主要活動実績表 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
役員・委員一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
部会理事一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

ホーチミン日本商工会議所
会頭 水嶋 恒三

ご挨拶

～ More For Vietnam ～ 3年間ありがとうございました

2023 年は「日越外交関係樹立 50 周年」に当たり、JCCH では前年度より「日越外交関係樹立 50 周年記念事業特別委員会」を設置し、同委員会が中心となって各種イベントの企画と運営を行って参りました。

主なイベントを紹介しますと、2023 年 3 月から 1ヶ月開催したホーチミン市バクダン公園での「イルミネーションパーク」に始まり、8 月には計 5 回実施した「清掃プロジェクト」がスタートしました。10 月はサッカーゲーム日越対抗の「E スポーツ大会」と 3000 人が参加した「JCCH 大運動会」を開催し、12 月には「日越友好ソング」の代表者 5 人が訪日してチン首相の前で「Tomodachi - Tình bạn」を歌いました。

これらは全て会員企業のご協力がなければできなかったことです。会員の皆様、各委員長や役員の方々に心より感謝申し上げます。

一連の 50 周年事業で私たちが目指したのは、独りよがりにならない、ベトナムの方々が参加して楽しめるイベントです。その期待に応えてくださるように、イルミネーションパークには数多くの方がご来場くださり、清掃プロジェクトや大運動会では参加者の 7 ～ 8 割がベトナム人、E スポーツ大会の来場者 3500 人もほとんどがベトナム人の方々でした。また、日越友好ソングではベトナム全土から 800 名の子どもたちにご参加頂きました。これらを通じて、日越の友好が更に進んだと実感しております。

日本には E スポーツを初めとしてベトナム人、その若い方々を惹きつけるカルチャーやコンテンツが数多くあります。これらを通じて日本のプレゼンスを向上させるのも商工会議所の役割の一つであり、それはベトナム政府に対しても同様です。

3 年間の在任中、ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルに 3 回出席して、非常に真摯に話し合える関係を構築できました。ベトナム側には変えられるところは変えていくという積極性があり、1 回で解決できなければ再度対話機会を設ける等の姿勢が強くなっています。

ただ、政府や自治体に要望を届けるには、同じ在越日本商工会議所である JCCI（ハノイ）や JCCID（ダナン）とはもちろん、同じ悩みや課題を抱える他国の商工会議所との連携が不可欠です。一緒に声を上げる仲間が増えれば、それだけ声が届きやすくなります。

そのため米国、EU、フランス、ドイツ、韓国、台湾などの商工会議所との関係強化を図って参りました。会頭同士で対話をし、その輪を役員レベルに広げ、政府への共同要望も実施しました。端緒に就いたばかりで時間は掛かると思いますが、来年度以降の交流継続を期待しています。

3 年前に会頭に就任した際に、「More For Vietnam ～ベトナム社会との共生・共創を目指して」というスローガンを掲げました。ベトナム政府との関係強化と共に、ベトナム企業とのビジネスマッチング等で企業間の共生を図り、ベトナム市場に寄与することを狙ったものです。

これから日本企業に求められることは、ベトナムという国を更に成長させるためのエンジンとなることだと思います。当地にはそれだけの力を持つ数多くの日本企業の皆様が進出しておられますし、今後益々増加すると確信しております。同時に、その成長を成しえるためにはベトナムの方々との共生、共創が非常に重要であると考えております。そのためにも JCCH が旗振り役となり、ベトナム企業との橋渡しを積極的に行い、新たな課題が出ればすぐに拾い上げて対応できる組織となる必要があります。

最後に、3 年間の任期中は新型コロナの急拡大、その後の経済回復、そして 50 周年記念事業等、多彩な経験をさせて頂きました。会頭職を無事に全うできたのは、会員企業の皆様、一緒にお力添えを頂いた役員や理事の皆様、事務局スタッフの皆様のおかげであり、感謝の念に堪えません。

ベトナムでの事業展開において様々なご苦労があると思いますが、当地にはこれだけ多くの日本企業が進出し、日本のプレゼンスも一定あり、今後もベトナムが日本にとって非常に重要な国であることは変わりません。こうしたアドバンテージを生かし、2024 年度が皆様にとって更なる飛躍の年となることを心から願っております。3 年間、本当にお世話になりありがとうございました。

在ホーチミン日本国総領事館
総領事 小野 益央

ご挨拶

相互依存関係を深める日本とベトナム 50周年の機運を生かし、一層の協力の促進を

昨年4月に着任してから1年が過ぎました。この1年間は、何といっても昨年の日越外交関係樹立50周年の活動が印象に残っています。

特に、JCCHにおかれては、水嶋前会頭、古澤50周年記念特別委員会委員長のリーダーシップの下、会員企業の皆様の熱心なご参加により、記念イルミネーション、大運動会、Eスポーツ大会、社会貢献企画、日越友好ソング関連プロジェクトなど、数多くの素晴らしい事業を実施し、ホーチミン市はじめベトナム各地の人々と我々日本人との友好と絆を強めていただいたことに改めて感謝申し上げます。

私が前回のホーチミン市勤務を始めた1994年、「ホーチミン日本商工会」のメンバーは70社ほどでした。それがこの30年間に、世界各地の日本商工会議所の中でも3番目に大きい1，074社まで拡大しました。

一方、日本では町中で技能実習生など多くのベトナム人を見かけるようになったほか、日本企業で基幹職員として活躍するベトナム人も増えていると聞きます。日本の社会と経済が様々な場で人材と外国からの投資を必要とする中、日本とベトナムの関係は益々双方向の、お互いがお互いを必要とする関係に発展しつつあると感じます。

そうした中、総領事館としましても、ホーチミン市はじめベトナム南部各地でのJCCH会員企業の皆様の活動が順調に進展していけますように、皆様と共に各省市関係機関への働きかけなどを通じビジネス環境の改善に尽くしてまいりたく思います。

また50周年を通じきっと皆様も実感されましたとおり、ベトナムには大変親日的な国民感情があります。こうしたベトナム南部の人々と日本との友情が一層深まっていくよう、総領事館としても日本のソフトパワーを生かした交流イベントの実施にも引き続き取り組んでまいりたく思いますので、JCCHメンバー各社の皆様からも引き続きご協力をいただければ幸いです。

50周年を機に発表されました日本とベトナムの「アジアと世界における平和と繁栄のための包括的戦略的パートナーシップ」がビジネス面でも日越双方に大きな利益をもたらすものとなりますよう、埜﨑新会頭はじめJCCHメンバー各社の皆様と協力して取り組んでまいりたく思いますので、引き続きどうかよろしくお願いいたします。

JETRO ホーチミン事務所
所長 松本 暢之

ご挨拶

日本企業を集める魅力的な国、ベトナム 関係強化のために今後も丁寧に対応

2023年度は日越外交関係樹立50周年の年であり、数多くの記念イベントが開催され非常ににぎやかな年となりました。

経済関係の点から見るとGDP成長率が約5%であった割には、欧米の需要減による輸出不振が大きく響き、それを実感できた会員企業は少なかったように思いますが、ベトナムへの投資額でみると国別で日本はシンガポールに続く2位となっており、投資対象国としてのベトナムの魅力は引き続き高いことが伺えました。

その一方で、ベトナムの魅力の一つであった政治的・経済的安定性は昨今の政府高官の辞任を見るにやや揺らいでいるようにも感じます。そうした動きに影響されるのか、各種行政手続きの煩雑さ、長期化が悪化している点は懸念要因だと考えられます。

JCCHの会員数は前年度より22社増えて2023年度末に1，074社となり、これは世界的に見ても上海・バンコクに次ぐ第3位の会員数を誇ります。

国レベルでみると2018年にベトナムの日本商工会議所の会員数はタイを超えASEANで最大の規模となり、進出日系企業数からするとタイの方がベトナムより多いですが、商工会議所会員数ではベトナムが上回ります。

これは前述のように不透明な行政手続きや法律の未整備など商工会議所に求められる役割が、タイよりも大きいことがその一因と考えられます。

2023年末に日本とベトナムはその関係を包括的戦略的パートナーシップに格上げし、さらなる関係強化が今後も図られていくことでしょう。その中でJCCHに求められるものは今後も増加することが予想されますが、私もJCCH副会頭として一つ一つ丁寧に対応していきたいと存じます。

日越外交関係樹立50周年記念 JCCH魅惑のイベント大集合!

2023年は日越外交関係樹立50周年の年で、JCCHも様々な記念イベントを開催しました。各イベントの担当委員長に裏話を取材し、会員企業の取組みもご紹介します。でもその前に、運営者と参加者の声を聞いてください!

運営者の皆さん

EVENT 1 イルミネーションパーク

イオンベトナム
南 景美 様

バクダン公園に
多くの方に来場頂き、
50周年記念を盛り上げた
イベントの一つとなりました。
50周年の認知度向上と共に楽しんで
頂きたいという思いがあり、
50周年記念事業（特別）委員会の
一員として参画できて大変うれしいです。

EVENT 3 大運動会

豊田通商インシュアランスブローカー
松本 暁 様

ベトナム人の方々に
馴染みのない日本式の
運動会ですが、多くの参加者が集まり、
皆様が本当に心から楽しみ、
「企業を背負って勝ちに行く!」という
熱意と活気をリアルに感じました。
運営委員として参加できた
ことが誇りです。

EVENT 5 日越友好ソング

AAB ベトナム
檜垣 柚 様

このプロジェクトは
未来を担う子どもたちが共に歌い、
その記憶と友好のメッセージを
未来へ繋げることを目指しました。
たくさんの方々に様々な場面で
歌って頂きましたが、今後も
「Tomodachi」が歌い継がれて
ほしいと願っています。

EVENT 2 Eスポーツ大会

ソニーベトナム
松田 宇樹 様

池田委員長からのお誘いを受けて、
二つ返事で企画と運営に参画いたしました。
ベトナム人のお客様のゲームや
アニメへの強い情熱を肌で感じ、
日本人の皆さんと一体となって盛り上がる姿を目の当たりにし、
同コンテンツに大いなる可能性を感じました。

EVENT 4 清掃プロジェクト

インターフード
和田 健一郎 様

日本文化である
「清掃」を通して、
①日越交流の深化、
②日本（JCCH）のプレゼンス向上、
③JCCH 会員への社会貢献の機会提供を
目指しました。
毎回定員を上回る参加希望があり、
特に数多くのベトナム人の方の参加が
大変喜ばしいことでした。

参加者の皆さん

EVENT 1 イルミネーションパーク

グエン・ティ・トゥエット・ニュン 様
（写真右側）

イルミネーションの桜ドームを
娘と一緒に歩いて、
キラキラと光る空間がとても美しく、
感動しました！
おそらくホーチミン市の誰もが、
イルミネーションパークで感動を
味わったと思います。

EVENT 3 大運動会

サンケンエスキューブ 様
ファン・ティー・ヴァン・アン 様

弊社は今回初めて
参加したにも関わらず、
驚いたことに大縄跳びで優勝できました！
チームメンバーの連帯感や結束力が一層高まり、
良い経験になりました。
主催した JCCH 様、ボランティアの皆さん、
ありがとうございました。

優秀者の1人に選んで頂き、
日本との交流にも参加できました。
日本の子どもたちと手を繋いで
「トモダチ」を歌ったり、一緒に遊んだり、
勉強したり、たくさん交流ができました。
素敵な思い出をくれたプロジェクトの皆さん、
ありがとうございました。

EVENT 5 日越友好ソング

キャンディ・ゴック・ハ 様

社会貢献や
ボランティア活動をすると
幸せを感じます。
主催者の方々のおかげで、
とても楽しく素敵な経験と
なりました。
百点満点です！（笑）

EVENT 4 清掃プロジェクト

マイ・ヴァン・ミン 様

①皆が利用する場所での清掃活動は
来た時より当然美しくなっており、
参加者も見ている人も共に気持ちが良くなります。
今後も継続していって欲しいです！
②清掃活動を通じて社会貢献ができ、
かつ社内と JCCH 内での交流ができるのは
大変素晴らしいと感じました。
これからも参加させてください。

EVENT 2 Eスポーツ大会

グエン・ハイ・ズイ 様

このような大きな大会に
初めて参加しました。
日本の選手たちとの交流を通して
自分のスキルを磨けましたし、
多くの参加者がライバルから
友達に変わりました。
とても良い思い出に
なりました。

EVENT 4 清掃プロジェクト

参加者 様
（参加者アンケートより抜粋）

EVENT

イルミネーションパーク

LEDライト50万球が彩る夜景 ホーチミン市の中心部に蓮と桜

日越外交関係樹立50周年記念事業（特別）委員会
古澤 康之 委員長
（イオンベトナム）

記念撮影がSNSで拡散 若い世代へのリーチにも

2023年3月15日～4月16日の1ヶ月間、JCCHとホーチミン市人民委員会が主催する「イルミネーションパーク」が、ホーチミン市1区のバクダン公園で開催されました。

LEDライトを50万球使用。ベトナム国花である蓮の池を表現したブルーの電球の中に蓮のオブジェを咲かせ、上空から見ると公園に巨大なブルーとピンクの蓮の花が浮かび上がりました。その隣に設置したのは、ピンクの電球で日本の桜をイメージした光のドームです。

イルミネーションというアイデアは、「ライトアップは万人受けする」、「記念撮影ができる」、「SNSで拡散されやすい」などから生まれたものです。その目的はベトナムの人たちが自由に参加して盛り上がれる企画であり、JCCHの最初の50周年イベントとして「インパクトのある開会式」にしたい気持ちもありました。

当初は企業に協賛を求める案もあったものの、個別の企業色を出すのは止め、JCCH主体での完遂を目指しました。ライトアップのデザインは友好関係を表す蓮と桜の花。雨季前のギリギリのタイミングで開催するため、約2週間の工期で完成させました。

LEDライトは特注品です。例えば桜のドームのライトは電球の周囲に細かな羽が付いており、少しにじんだ独特のライティング効果が生まれました。

「特に若い世代にリーチする手段は何かと考えました」

仕込んだ50周年のロゴ 7月にはダナンで蓮と桜

目的は達成できたようです。イルミネーションパークは話題を呼んでテレビ、新聞、雑誌、Webなど多くのメディアが取り上げ、JCCHは600万人弱に情報が届いたと推定しました。古澤委員長は……。

「SNSの配信数はカウントできないものもあるので、1000万人近くにリーチできたと思います」

実は公園には工夫がありました。公園内に何気なく設置するなど、50周年のロゴを色々な場所に「仕込んだ」のです。公園内で撮影すると同時にロゴが写り込むこともあり、メディアやSNSで自然と広がりました。

これだけの設備を1回で終わらすのはもったいない。しかし、LEDとはいえ消耗品なので、所々が消えてしまったら格好悪い。そうなる前に、ダナンに持っていこうという声が上がりました。

LEDライト50万個は同じ50周年事業である、7月の「ダナン市日越文化交流フェスティバル2023」の期間中に使われ、ロン橋西岸公園で蓮と桜のイルミネーションが再び花開きました。

「日越友好が光でつながっていく。自分で言うのも何ですが、うまくできたんじゃないかな」

EVENT 2

Eスポーツ大会

ゲームとコスプレに若者が熱狂 これがジャパンカルチャーだ！

生活環境委員会
池田 重之 委員長
（ベトナム三菱商事）

日越対抗のゲーム大会 ジャパンブランドを訴求

サッカーゲームのFIFA2023でプレイする「Eスポーツ大会」が2023年10月7日、ホーチミン市のグエンズースタジアムで開催されました。来場者数は約3500人、ライブストリーミングの累計視聴者数は約8万5000人と、予想を大きく上回りました。

ゲームは大勢の観客の歓声を受けた日越対抗試合です。ベトナム側は約100人の応募からトーナメント制で予選、決勝と勝ち上がった優勝者、プロゲーマー、KOL（インフルエンサー）の3人がチーム。日本側はプロゲーマー、ユーチューバー、KOLの3人。最長で5試合の予定が最終戦までもつれ込み、3勝2敗でベトナムチームが優勝！

「Eスポーツは馴染みがなかったのですが、凄く興奮しました。試合は白熱して、試合後は日越のプレイヤー同士が抱擁を交わしていました」

Eスポーツ大会はベトナムの若者にフォーカスしたイベントです。ベトナムの50～60代は日本に技術力や信頼感を感じ、30～40代もまだ強いイメージを持っていても、10～20代が好むのは韓国やアメリカのエンタメやファッションが多い。その彼らを引き付けるコンテンツとしてゲーム、それも人気のFIFA2023が選ばれたのです。

「若い世代にジャパンブランドを訴求するなら、世界で圧倒的に強いゲームとアニメだと思いました。そこで、コスプレ大会も同時開催しました」

コスプレ大会も大盛況 スケジュールを急遽変更

アニメやゲームのキャラクターに仮装するコスプレ大会はEスポーツプログラムの前に行われました。3000人以上が応募したオンラインコンテストからトップの22人が登場し、ステージでパフォーマンス。KOL等が審査員となって表彰式が開催され、池田委員長もアオザイを着て優勝賞金ボードやトロフィーを授与しました。

「参加者だけでなく来場者もコスプレ姿が多く、Eスポーツに劣らず盛り上がりました」

当初は会場がガラガラとなる心配もされ、集まっても2000人程度と予想。そのため、コスプレ大会の表彰式をEスポーツプログラムの表彰式後に予定していました。来場者が少なかった場合、空いた時間を作らないためです。

しかし、ゲームもコスプレも大盛況となり、逆に会場の混み具合が心配されます。そこでコスプレ大会の表彰式をゲーム開始前に急遽変更し、危険な混雑がうまく緩和されました。運営を担当したのはEスポーツを専門とするベトナム企業で、ベトナム人の柔軟性が光った展開だったそうです。

「あれだけの若者が来て、皆が本当に楽しんでくれました。主催者冥利に尽きる50周年事業です」

EVENT 3

大運動会

綱引き、玉入れ、フットサル！
トライアルは1400人、本番は3000人

前年度から試験的に開催
一番の人気はフットサル

2023年10月15日にホーチミン市のホーチミン日本人学校で、「JCCH大運動会」が開催されました。会員企業の社員や家族など、競技参加や応援などを合わせて96社、約3000人が来場しました。

初回である前年度に引き続いて企業対抗運動会、フットサル大会、バドミントン大会の他、新たな種目として「台風の目」、競技ではテニス大会や卓球大会が追加されました。

「日本式の運動会をベトナム人の皆さんに楽しんでもらう、シンプルな発想です。50周年のイベントを目標に、前年度にトライアルとして始めました」

2022年の運動会には約1400人が参加。ベトナム人が約8割と多くを占め、見よう見まねのラジオ体操からスタート。日本人もベトナム人も汗をかきながら、スポーツ交流を楽しみました。そこで今回は規模倍増を計画しました。初回は午前中で終了でしたが、お昼休みを挟んで夕方までとし、会場でランチを取るようにできないか、と考えました。

「日本人学校のご協力がこの大運動会を実現できた一番の理由です。体育館が2つ、テニスコートもあり、当日も教員の皆様にご参加いただくなど大変感謝しています」

前年の運動会が評判となって、各競技ごとのエントリーが殺到。一番人気はやはりフットサルで、従業員が多い企業は3チーム、4チームと応募がありましたが、あまりに多くて1社1チームに限定。参加枠はすぐに埋まり、バドミントンも同様でした。

大縄跳び、玉入れ、綱引きなど、できるだけ怪我をしない安全な競技を選びました。これらのシンプルな競技は参加しやすく、中でも盛り上がったのは企業対抗の綱引きでした。

スポーツ・文化委員会
福西 英和前委員長
（ビナ・キョウエイ・スチール）

「応援の皆さんも熱狂して、競技者のすぐ近くまで近寄っての応援を、委員の皆が必死に引き止めました（笑）」

子どもたちが多数参加
メダルが足りなくなった！

競技ごとに参加者が異なるので、会場に1日中いる人は稀。これをトライアルの時に学んだので、3000人規模の大運動会を開催できたそうです。そんな中で今回は3～8歳の子どもを対象にした玉入れとかけっこを開催し、約200人に参加いただきました。

日本の運動会を知らないベトナムの方々なので、大人の方でも各競技への誘導や入場の仕切りに最も苦労しました。それがお子様となれば「制御不能」とのこと。「ヨーイドン！」の前に駆け出す子どもなど珍しくもなく、しかも、エントリー数よりはるかに多くのお子様に参加いただき、参加賞として全員にプレゼントするオリジナルメダルが足りない！となりました。

「過去に開催したマラソン大会の時のメダルが残っていたことを思い出した事務局長に急遽取りに戻っていただき、運動会用にメダルをリメイクしたうえで、きちんと皆さんにお渡しできました」

大運動会が無事に終了できた最大の要因は、18人のスポーツ・文化委員の貢献です。前年の運動会を体験した人が大半で要領や問題点をよく理解しており、開催前日も日本人学校でシミュレーションを繰り返しました。

「大きな怪我なく終えられたので一安心です。転んでいたのは日本人の社長さんばかりでした（笑）」

EVENT 4

清掃プロジェクト

公園、動物園、海岸の５ヶ所に集合 ゴミ袋がすぐ一杯になって足りない！

社会貢献委員会
臼井 勝彦 委員長
（サッポロベトナム）

百数十人が毎回参加 皆が笑顔でゴミを拾う

2023年8月26日～2024年1月13日まで5回にわたって、特定の場所でゴミを拾う「清掃プロジェクト」が開催されました。

第1回がホーチミン市のサイゴン動植物園（8月26日）、第2回が同ホーチミン日本人学校周辺（9月16日）、第3回が同タオダン公園（10月28日）、第4回がバリアブンタウ省の海岸（12月17日）、第5回がホーチミン市のレーティーリエン公園（1月13日）です。

バリアブンタウ省の海岸清掃プロジェクトは以前からありましたが、今回は50周年事業として5回の清掃プロジェクトに拡大。参加者は各130～150人で、最も多かったバリアブンタウ省では約190人、7～8割がベトナム人スタッフとその家族でした。

「手袋、ゴミを拾うトング、ゴミ袋などを用意して、集まっていただいた方に当日の朝配ります。清掃を始めるとすぐにゴミ袋が一杯になります」

清掃時間は毎回1時間。短いようにも思えますが、暑い中でゴミを拾って集め、ゴミ袋を所定の位置に置いたら再びゴミを拾う。この作業を続けるため、最初に休憩を挟みながら水分補給をするように伝えています。

「皆さんニコニコと楽しんでいました。仲間と一緒の方や子どもに教えたいと家族連れで来る方も多かったです」

清掃が終わったら集められたごみ袋の前で、笑顔で記念撮影です。

参加希望者が押し寄せた 日本文化の発信・浸透にも貢献

清掃プロジェクトは隠れた人気イベントで、募集すると3～5日で参加人数が埋まります。

「清掃する姿を見たベトナム人の方が応援したり興味を持ったりと、日本の文化である清掃の啓発活動にもつながっています」

ゴミ袋は50や100個がすぐに溜まり、用意したゴミ袋がなくなってしまうこともありました。その地区で清掃を請け負う業者はいるのでしょうが、日本のように徹底されてはいないようです。

「公園はゴミが少なかったのですが、動物園や海岸は何というか、やりがいがありました（笑）」

ベトナムに社会貢献したい日系企業は多いので、企業と連携した清掃活動もあると臼井委員長は考えています。今後も清掃活動は続けていく予定です。

EVENT 5

日越友好ソング

ベトナム全土から800人が応募 日越2つの言葉で歌う「Tomodachi」

オンラインと会場で歌を披露 選ばれた5人は日本に出発

2023年12月4日、日越友好ソング『Tomodachi－Tinh ban』を通じた日本の子どもたちとの交流のため訪日する、代表者5人が約800人の中から選ばれました。『Tomodachi－Tinh ban』は2022年に一般公募された楽曲で、この日越友好ソングをベトナム全土に発信、浸透させる交流プロジェクトを2023年9月から3ヶ月間実施しました。

「JCCH単独でなく、北部と中部の日本商工会議所、ベトナム政府も含めたプロジェクトです」

全国の子どもたちに歌ってもらう場所を作る。そのため、ベトナム政府と公的機関からの情報発信、学校など教育機関の協力を得て、ベトナム全土から800人の子どもたちが集まりました。

オンライン経由が約450人、ホーチミン市、カントー、ダナン、ハノイ、ハイフォンの5大都市の会場への参加が約350人で、この2部門から5人の代表者が決まりました。

選ばれたのは10～19歳（当時）のベトナム人の男女で、歌唱力だけでなく「Tomodachi」のコンセプトを歌声で精一杯表現してくれた方々です。勝ち負けにはしたくないことから「優秀者」と呼んでいます。

「日本語とベトナムの両方が入るから余計に難しいのですが、皆さん本当に歌が上手で驚きました」

12月12日にはホーチミン市のオペラハウスで、「Tomodachiプロジェクト出発式」を開催しました。5人の子どもたちはオペラハウスの前で初めてスピーチして、そのまま日本に向かったのです。

日本でチン首相の前で熱唱 アーカイブサイトの制作へ

友好ソング交流プロジェクトの代表として、子どもたちは2023年12月13日～20日に訪日しました。東京都や大阪府の小学校を訪問して日本の小学生と合唱交流をしたり、『Tomodachi－Tinh ban』のミュージックビデオに出演した日本の子どもたちと日越料理体験をしたほか、訪日中だったベトナムのファム・ミン・チン首相の前で歌う機会にも恵まれました。

「5人の方々は帰国後、様々なイベントに参加して歌を披露してくれています。チン首相と共に日本の閣僚もおり、日越両政府の前で歌ったのは良い財産になったと思います」

日越友好ソングを広めるフェーズが終わって、今後はこのプロジェクトを形にして残し、改めて周知させるように取り組んでいます。そのためのWebサイトを作って運用していますが、その中身をもっと充実させて、アーカイブ的なサイトに変えていこうとしています。

「プロジェクトを運営した日系企業さんは、この歌をベトナムの教科書に載せたいと言っています（笑）」

『Tomodachi－Tinh ban』の動画はYouTubeで視聴できます。素晴らしい歌声をどうぞお聴きください。

日越外交関係樹立50周年記念事業（特別）委員会
古澤 康之 委員長
（イオンベトナム）

EVENT 6

チャリティー新年会

餅つき、キッズ空手、友好ソング…日本人社会のビッグイベント

スポーツ・文化委員会
福西 英和 前委員長
（ビナ・キョウエイ・スチール）

ホーチミン市のホテルニッコーサイゴンにて2023年1月6日、JCCHの「チャリティー新年会～日越外交関係樹立50周年記念～」が開催されました。この新年会では参加者の方々にチャリティーとして募金のご協力をお願いしました。

新型コロナの影響で3年振りとなる新年会は400人以上の会員とご家族に参加いただき、恒例となっている餅つきには、2歳のお子様から大人まで大勢が参加しました。新年会はスポーツ・文化委員会の担当で、福西前委員長はこう振り返ります。

「うちには『餅つきスト』と呼ばれている餅好きイベントの専用メンバーがいます。これが代々受け継がれていくのです」

日越友好ソングコンテストで最優秀賞となった『Tomodachi – Tinh ban』をミュージックビデオに出演した日本人とベトナム人の子どもたち6人が合唱。準優秀賞を受賞した『そうだ！ベトナムに行きましょう！』は歌手の三上ナミさんがパフォーマンスを交えて歌い上げました。

また、元気いっぱいの子どもたちがキッズチアダンス、キッズ空手の演舞などで大喝采を浴びました。大勢の前で披露する場が数年なかったためかとても張り切っていて、新年会の恒例行事になりつつあります。

EVENT 7

ぼんおどり大会

日越400人が輪になって踊る！最大級日本フェスの恒例イベント

スポーツ・文化委員会
福西 英和 前委員長
（ビナ・キョウエイ・スチール）

ベトナム最大級の日本フェスティバル「ジャパンベトナムフェスティバル」の第8回が、2023年2月25～26日にホーチミン市の9月23日公園で開催されました。JCCHでは第4回からメインステージにて「日越友好平和ぼんおどり大会」を開催しています。

2月25日夕方にはこの日のために練習を重ねた「日越友好囃」と「日越平和音頭」の2種類の盆踊りを、揃いの青い法被で披露しました。

ステージ中央に櫓を組み、提灯を飾って、櫓の周囲を会員企業の従業員やご家族、日本人学校の児童・生徒たち、来場した一般参加の方など約400人が日本文化である盆踊りを楽しみました。担当のスポーツ・文化委員会、福西前委員長が語ります。

「参加者は大半がベトナム人の若い皆さんで、日本文化の何にでも興味を持ち、楽しそうに踊っている姿が印象的でした。日越文化交流の本当に良い機会となりました」

櫓の上で踊るのはJCCHの会頭や日本総領事の方々です。その踊りが来場者のお手本となるので皆さん真剣に踊っておられました。

「居酒屋の個室で、スポーツ・文化委員皆で、盆踊りの特訓をしました。全員が2種類とも踊れるようになったらビールを飲もうと。皆で汗かきながらやってました（笑）」

JCCH会員企業も特別事業やイベントを開催!

3機関が連携したIT人材の育成事業を開催

ソリマチベトナム
2023年4月15日～8月31日

ソリマチベトナム、長岡技術科学大学、ホーチミン市工科大学の合同事業として、「最新開発講座＆インターンシップ受入れによるIT人材育成事業」を開催。ホーチミン市工科大学の学生に対して、ベトナムでのオンライン講座と来日インターンシップを提供しました。

オンライン講座の目的は日本の企業環境をより理解して、自信を持って日本企業でインターンできること。講座受講後の2か月間、学生たちはソリマチベトナムの親会社がある新潟県長岡市のIT企業等でインターンシップに参加しました。

サイバーセキュリティセンターを共同で設立

アリス
2023年6月30日

アリスと東部国際大学(EIU)は、サイバーセキュリティセンターの開所式を行いました。アリスが支援しながらEIUの強みである情報技術、通信分野の研修・研究を活用し、サイバーセキュリティの研修、研究の場としてワークショップやトレーニングプログラムを実施しました。高度で専門的な技術の習得、人材の育成を促進します。

同センターは地域社会の安全と、サイバーセキュリティ分野における技術提供と情報発信の場としての役割も果たしていきます。

物流集中講義と共に見学ツアーを開催

SG佐川ベトナム
2023年7月3日～14日

SG佐川ベトナム(公益財団法人SGH財団)は、国土交通省が推進する日ASEAN交通連携に協力し、物流に関する人材育成支援事業として、ホーチミン市交通大学の3年生を対象とした「物流集中講義」を2014年度から実施しています。

2023年は4年ぶりの対面開催となり、約210名が対象。事業運営はSGH財団、講師は佐川グローバルロジスティクスと国土交通省が務め、見学ツアーはSG佐川ベトナムが企画運営しました。物流倉庫の見学ツアーでは大学生が真剣な眼差しで説明に聞き入る姿が印象的でした。

山岳小学校へチャリティトリップを開催

日本航空
2023年12月3日、4日

日本航空は「チャリティトリップと折り紙ヒコーキ教室」を実施しました。ベトナム北西部に位置するソンラ山岳省にあるバンホー村には、少数民族のモン族が多く暮らしています。貧しい生活で教育環境は悪く、学校内にはトイレがありません。

今回のチャリティトリップでは洗面所の設置、物資の支援、お祭りを開催し、プレゼントや食事を提供しました。折り紙ヒコーキ教室ではコンテストも開催し、自分が折った紙ヒコーキが飛ぶと生徒たちは嬉しそうに笑顔を見せました。

2023年度 第30回定期総会 2023年4月21日

2023年度のホーチミン日本商工会議所の活動は2023年4月21日(金)に行われた総会で始まりました。
2022年度の会頭、水嶋恒三氏により、同年度の活動報告が行われ、また、引き続き同氏による三期連続の会頭就任が承認されました。
本総会では役員の交代が行われ、新体制がスタートしました。当日は在ホーチミン日本国総領事館の小野総領事にもご出席を賜り、ご挨拶を頂きました。

▲ 第30回定期総会はニューワールドサイゴンホテルで開催された

▲ 2023年度執行役員が紹介された

▲ 三期連続の会頭就任が承認された水嶋恒三氏

<2023年度活動目標> More for Vietnam ～ベトナム社会との共生・共創を目指して～

JCCHの歩み

1993年	ホーチミン市で活動する日本企業の団体として「ホーチミン日本人友好倶楽部」が発足。
1994年	組織の拡大に伴い、名称を「ホーチミン日本商工会」に変更。 英文表記は「Japanese Commerce and Industry of Ho Chi Minh City」(通称:JCIA)。 会員社数は69社。初代会長は広岡 正夫氏(三井物産)。
1997年	ホーチミン日本商工会立ホーチミン日本人学校を設立。 この年からチャリティバザーを毎年開催(～2014年度)。 売り上げをベトナムの医療機関へ寄付。
1998年	5月、英文名称を「The Japanese Business Association of Ho Chi Minh City」(通称:JBAH)に変更。 9月28日、ホーチミン市人民委員会から正式団体として認可を受ける。 事業および生活環境の改善を目的とするホーチミン市人民委員会との「ラウンドテーブル」を開始。
2002年	この年から「ラウンドテーブル」を毎年開催。
2011年	会員企業数500社を突破。
2015年	社会福祉施設への訪問・支援を開始。
2016年	マラソン大会を初開催。1,000人以上が参加しJCCHのスポーツ関連イベントとしては最大規模に。
2018年	4月、名称を「ホーチミン日本商工会議所」に変更。 英文名称はThe Japanese Chamber of Commerce and Industry in Ho Chi Minh City(通称:JCCH)。 会員企業数 1,000 社を突破。
2021年	新型コロナウイルス第4波の影響で、数カ月に及ぶ社会隔離政策が実施され、役員会、委員会、部会、セミナー、講演会など、オンラインを中心とする実施体制へ。
2022年	新型コロナウイルスの収束により徐々に対面による実施体制に移行。 マラソン大会の後継イベントとして大運動会を初開催。

＊社名、肩書は当時のもの。

JCCH歴代会頭一覧

代目	年度	氏名	所属
初	1994	広岡 正夫	三井物産
2	1995～1997	伊東 淳一	日商岩井
3	1998	大北 裕之	住友商事
4	1999	岩間 憲道	三井物産
5	2000	山崎 末次	三菱商事
6	2001	浅田 弘一郎	住友商事
7	2002	今津 康雄	三菱東京UFJ 銀行
8	2003	会川 精司	日商岩井
9	2004	松林 勝	三菱商事
10	2005	脇 郁晴	双日
11	2006	石田 泰	丸紅
12	2007	中川 卓男	三菱東京UFJ 銀行
13		深山 隆	味の素
14	2008	大西 範和	住友商事
15	2009	小須田 森仁	双日
16	2010	柏木 利夫	三菱商事
17	2011	那須 泰孝	みずほコーポレート銀行
18	2012	森 光廣	ビナキョウエイスチール
19	2013	山口 貴美雄	双日
20	2014	百石 洋人	三菱商事
21	2015	坂上 勉	丸紅
22	2016	前野 浩二	JFE スチール
23	2017～2018	門脇 恵一	三菱商事
24	2019～2020	岡田 英之	TMI 総合法律事務所
25	2021～2023	水嶋 恒三	双日

＊社名は当時のもの。

活動報告 Theme 1

事業・生活環境の改善
ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル

事業環境及び生活環境の改善を目的として、ホーチミン市人民委員会と毎年開催しているラウンドテーブルは1998年の開始から22回目を迎えました。このプロジェクトは半年ほどの期間をかけて、JCCH会員企業の皆様が日頃抱える事業・生活環境上の課題について、ホーチミン市人民委員会に対して改善要望を行う場となっております。

2023年度は6月下旬に会員企業に対してアンケート調査を行ったところ、各分野における意見・要望が100項目集まりました（法務労務：44項目、税務通関：24項目、生活環境：32項目）。
これらを担当委員会で協議して17項目に絞り込み、昨年度までの要望のうち追跡調査を実施した6項目の結果をとりまとめ、9月に要望書を提出しました。その後、一つ一つの項目に対してJCCHとホーチミン市人民委員会の担当者が、具体的な解決策を検討していくため実務者レベルでの話し合いを重ね、本会議が12月14日行われました。

ラウンドテーブルキックオフミーティングを開催 （2023年6月14日）

JCCHからは中川幹久副会頭 兼 事業環境委員長、小野瀬貴久副会頭 兼 税務・通関委員長、新田和男労務委員長、池田重之生活環境委員長と上田真也事務局長が出席し、ホーチミン市側からは貿易投資促進センター（ITPC）バン副センター長ら関係者が参加しました。

プレラウンドテーブルを開催 （2023年10月20日、10月23日、10月27日）

ラウンドテーブル本番に向けて、実務者レベルの会合であるプレラウンドテーブルが開催されました。本会合は、ITPCにて生活環境、法務・労務、税務、通関の4チームに分かれて議論を行いました。

ラウンドテーブル本会議を開催 （2023年12月14日）

ホーチミン市からはマイ人民委員会委員長並びにITPCのチャン副センター長ら主要部局の幹部が出席し、日本側は小野益央総領事、JCCHからは水嶋恒三会頭、和田正明副会頭及び各ワーキングチームリーダーを務めた中川幹久副会頭兼事業環境委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、新田和男労務委員長、池田重之生活環境委員長と、上田真也事務局長らが出席しました。
マイ委員長及び水嶋恒三会頭とも「今後ホーチミン市が目指したいDX・GX、薬剤・バイオ、精密機械等を含むハイテク産業分野、観光業などにおいて日越の協力関係が一層強まるよう努力する」と合意しました。

活動報告 Theme 1

事業・生活環境の改善
ホーチミン市および周辺省との連携

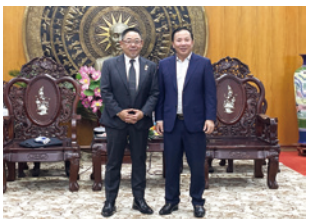
2023年度ラウンドテーブル開催までの経過

6月下旬～7月中旬	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのキックオフミーティングを開催(1日)。 JCCH会員企業に本ラウンドテーブルに向けた要望を募集。その結果100項目の要望が集まった。
7月～8月	事業環境委員会、労務委員会、税務・通関委員会、生活環境委員会にて100項目の要望を17項目に絞り込んだ。
9月	ホーチミン市側に当該17項目の要望書及び2022年の部局の回答に関するフィードバック6項目を提出(11日)。
10月	事業環境委員会(法務労務チーム、税務チーム、通関チーム、生活環境チーム)がホーチミン市側とプレラウンドテーブルを開催(10月20日、23日、27日の4セッション)。
11月	プレラウンドテーブル後、各要望についての評価を実施し、ホーチミン市側に評価コメントを提出。 新規の17項目に関する評価:12項目について「問題は完全に解決された、または少なくとも実質的に大幅に改善された」。 2022年度の要望で追跡調査をした6項目に関する評価:いずれも「問題は完全に解決された、または少なくとも実質的に大幅に改善された」。
12月	ラウンドテーブル本会議を開催(14日)。
2月	ラウンドテーブルフィードバックセミナーを開催(28日)。

2023年度役員による各省人民委員会表敬訪問

ロンアン省人民委員会　ウット委員長表敬訪問 (2023年6月6日)

JCCHからは水嶋恒三会頭をはじめ、松本暢之副会頭、小野瀬貴久副会頭 兼 税務・通関委員長、臼井勝彦社会貢献委員長、ロンアン部会の安井悦也部会長、三上泰史副部会長が出席し、ロンアン省人民委員会からはウト委員長の他、外務局、計画投資局、経済地区管理委員会、商工局、スポーツ・文化局の幹部らが出席しました。

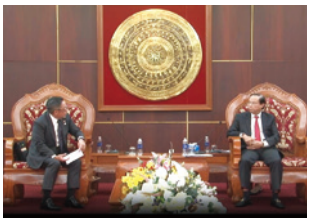
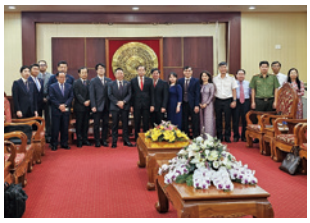


ホーチミン市人民委員会　ホアン副委員長表敬訪問 (2023年6月8日)

JCCHからは水嶋恒三会頭をはじめ、松本暢之副会頭、小野瀬貴久副会頭 兼 税務・通関委員長、岩本英久広報委員長、ホーチミン市部会芳木泰正副部会長、タントアン・リンチュン部会青山光延部会長が出席し、ホーチミン市人民委員会からはホアン副委員長の他、外務局、商工局、ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)の幹部らが出席しました。

バリアブンタウ省人民委員会　トー委員長表敬訪問 (2023年6月8日)

JCCHからは水嶋恒三会頭をはじめ、松本暢之副会頭、福西英和スポーツ・文化委員長、岩本英久広報委員長、バリアブンタウ部会の青山芳朗部会長、竹野建二副部会長が出席し、バリアブンタウ省人民委員会からはトー委員長の他、商工局、税務局、工業団地管理委員会、交通運輸局、計画投資局、天然資源環境局、スポーツ・文化局、外務局の幹部らが出席しました。

活動報告 Theme 1

事業・生活環境の改善
ホーチミン市および周辺省との連携

ドンナイ省人民委員会　ユン委員長表敬訪問　（2023年6月9日）

JCCHからは水嶋恒三会頭をはじめ、松本暢之副会頭、小野瀬貴久副会頭 兼 税務・通関委員長、新田和男労務委員長、岩本英久広報委員長、ドンナイ部会の古川裕二部会長、福島康夫理事、大谷義行理事、福宿伸一郎理事が出席し、ドンナイ省人民委員会からはユン委員長の他、外務局、計画投資局、商工局、工業団地管理委員会、友好連合会の幹部らが出席しました。

ビンズン省人民委員会　ミン委員長表敬訪問　（2023年6月9日）

JCCHからは水嶋恒三会頭をはじめ、松本暢之副会頭、岩本英久広報委員長、ビンズン部会の長戸隆彦部会長、宮浜健一理事、白子修理事、酒匂孝教理事が出席し、ビンズン省人民委員会からはミン委員長の他、外務局、商工局の幹部が出席しました。

地域の枠を超えた連携

ドンナイ省税関局とのFDI会合　（2023年6月23日）

JCCHからは水嶋恒三会頭、ドンナイ部会の古川裕二部会長及び日系企業9社14名の代表が出席しました。会員企業が事前に提出した通関システムの改善等13項目の事前質問・要望に対して、税関局の担当者から回答があった他、当日、参加企業からも多くの質問が寄せられました。

税関総局（GDC）との対話集会　（2023年8月9日）

本会合はJCCH会員企業が直面している税関上の課題・質問等に対してGDC、管轄の地方税関局（南北を問わず）が直接回答する場として開催されました。
会員企業から関心が高く、会合当日は会員企業約100社、180名にご参加いただきました。事前質問77項目のほか、会議の場で多数の質問、意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

バリアブンタウ省人民委員会とのラウンドテーブル　（2023年9月29日）

本会合ではVAT還付遅延問題や投資登録証明書（IRC）延長承認長期化などに関する意見・要望9件が取り上げられました。どれも日系企業にとって、重要かつ関心の高いテーマとなっており、青山芳朗部会長からは会議で議論した中で残った課題について継続的に協議し、必要に応じて2023年度中に第二回のラウンドテーブルを開催するよう要望しました。

活動報告 Theme 1

事業・生活環境の改善
ホーチミン市および周辺省との連携

ビンズン省人民委員会との対話集会（2023年10月20日）

JCCHからは水嶋恒三会頭、ビンズン部会永田勝則副部会長、白子修理事及び日系企業10社15名の代表が出席しました。当日は会員企業から提出された質問・要望10件のほか、労働許可証申請の課題や工業団地内の水道料金値上げ問題などについて各担当部局と意見交換を行いました。

ドンナイ省における日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会（2023年11月9日）

今年度で7回目の開催となる本イベントは日系企業における現地調達率の向上や、現地企業との商談機会の創出を目的として開催されました。日系企業とのビジネス拡大に意欲的なベトナム企業42社、JCCH会員企業をはじめとした日系企業45社が参加しました。
2019年から2021年までの3年間で本ビジネスマッチング会を通じて8社のベトナム企業が日本企業の調達パートナーとなり、成約件数は21件にのぼり、非常に有益な活動となりました。

HCMC人民委員会とFDI企業との会合（2024年3月14日）

レックスホテルにて、ホーチミン市人民委員会主催でJCCHのほか、アメリカ、韓国、ヨーロッパなど市内の主要な経済団体や企業が招かれ、マイ人民委員長や市の各部局幹部とのFDI会合が行われました。
JCCHからは小野瀬貴久副会頭 兼 税務・通関委員長、上田真也事務局長が出席しました。小野瀬貴久副会頭 兼 税務・通関委員長より、これまでラウンドテーブル開催への協力の謝辞を述べると共に、今後のベトナム裾野産業育成を含むサプライチェーンの強化の支援計画やホーチミン市が目指しているDX、GX、半導体産業などの投資誘致に向けて投資環境やインフラ整備について提言しました。

第二回バリアブンタウ省人民委員会とのラウンドテーブル（2024年3月20日）

本会合では2023年9月29日に開催したラウンドテーブルで未解決のVAT還付遅延に関する要望事項4件と工業用水の供給に関する新規要望1件について日系企業4社と関連部局との間で議論が行われました。

活動報告 Theme 2

日本人社会への協力
日本人学校の運営

ベトナム南部唯一の日本人学校であるホーチミン日本人学校は1997年にホーチミン日本商工会(当時)によって設立されました。
現在も引き続き、JCCHが子どもの教育になくてはならない日本人学校の運営も同校と連携しながら行っています。
2024年3月現在は児童・生徒数633名、学級数は31学級で編成されており、毎年増加傾向にあります。

日本人学校入学式 (2023年4月11日)

本年度は小学部79名、中学部40名、計119名の新入生を迎え、全校生徒593名でのスタートとなりました。
JCCHからは水嶋恒三会頭らが出席し、新入生の心を掴む祝辞を述べました。

日本人学校ホーチミン祭を開催 (2023年6月11日)

今年の全体テーマは「咲き誇れ歌の華」。各学年がそれぞれテーマを掲げて約1か月間一生懸命に練習を重ね、本番のステージでは素晴らしい合唱や合奏を披露していました。

日本人学校運動会を開催 (2023年10月1日)

全校生徒が参加したGO！GO！パワーボールでは、熱戦が繰り広げられ多くの声援が上がり、例年と変わらない盛り上がりを見せた素晴らしい運動会となりました。

中学部・小学部の卒業証書授与式 (2024年3月13日)

在校生や保護者の方々が見守る中、小学部6年生58名、中学部3年29名が卒業を迎え、来賓として在ホーチミン日本国総領事館小野益央総領事、JCCHからは水嶋恒三会頭、上阪克之日本人学校運営委員長、上田真也事務局長が出席しました。
卒業生の皆さんには、自分の夢を大切に、そしてその実現を目指して、これからも大いにチャレンジしていってほしいと思います。

活動報告 Theme 2

日本人社会への協力
在ベトナム法人の生活のため

ベトナムでは在住日本人を支援する日本人会が存在しておらず、JCCHがそれに代わる役割を担っています。JCCHは日本人学校の運営、スポーツ・文化に関する各種交流イベントの実施、在留邦人の健康維持・安全対策のためのセミナーの開催などを行っています。

50周年記念JCCH大運動会 （2023年10月15日）

50周年の記念イベントとして、2022年度の開催時よりも規模を拡大し、競技参加者、応援の方などを合わせて96社、約3000名が来場しました。
2022年度に引き続き、企業対抗運動会・フットサル大会・バドミントン大会のほか、2023年度から運動会種目として「台風の目」を追加し、競技ではテニス大会・卓球大会を新たに実施しました。
競技では各社白熱した試合が繰り広げられ、日本人、ベトナム人双方の参加者が楽しみながらスポーツ交流を行いました。
また、3～8歳の子どもを対象にした、玉入れ・かけっこを実施し、約200名が参加しました。子どもたちには参加賞としてオリジナルメダルをプレゼントしました。

【 各競技優勝企業一覧 】

①運動会
- 大縄跳び ： サンケンエスキューブ様
- 台風の目 ： セッツカートンベトナム様
- 玉入れ ： ロッテベトナム様
- 綱引き ： 鴻池ビナトランスロジスティクス様
- 障害物リレー ： オレオ インフォメーションテクノロジー様
- リレー ： セッツカートンベトナム様

②バドミントン1位 ： アシックスソーシングベトナム様
③フットサル1位 ： 新日本有限責任監査法人様
④卓球1位 ： ベトナム住友倉庫様
⑤テニス1位 ： サイゴンエステック様

【 ご協賛企業様 】

- エロヴィベトナム様
- インターフード様
- エースコックベトナム様
- 湖池屋ベトナム様
- ベトナム高島屋様
- ハウス食品ベトナム様
- ミニストップベトナム様
- ロッテベトナム様
- 大塚タンニュートリション様
- ベトナム大正様

【 医療支援を頂いた企業様 】

- ファミリーメディカルプラクティス・ベトナム様

【 運営協力を頂いた団体様 】

- 日本人卓球同好会様（卓球）
- ホーチミン7バドミントンクラブ様（バドミントン）
- アドバンスフットボールクラブ様（フットサル）
- ホーチミンふります会様（テニス）

◀子ども玉入れの様子

◀応援にも熱が入る

◀企業対抗！白熱のリレー対決

◀協賛企業より多数の出展

◀準備・運営を行ったスポーツ・文化委員会の皆さん

日本人社会への協力
在ベトナム邦人の生活のため

JCCH懇親ゴルフ大会2023 （2023年12月3日）

スポーツ・文化委員会の主催で「JCCH懇親ゴルフ大会2023」をタンソンニャットゴルフ場で開催しました。39回目の開催となる本大会では初のホールインワン達成者も現れ大変な盛り上がりでした。
今年は参加者全員向けの参加賞として16社から商品・バウチャー等をご提供頂いたほか、200社より協賛品をご提供頂きました。
さらにホールインワン賞には以下5社より賞品をご提供頂きました。

【 ホールインワン賞スポンサー企業様（以下順不同）】
- ホテル デュパルク ハノイ様
- ホテル ニッコー ハイフォン様
- フォントゥイ コーポレーション様
- いすゞ ベトナム様
- 両備インターナショナル ロジスティクス ベトナム様

▲グループに分かれてコースを回った

▲入賞者には豪華景品を贈呈

▲プレー後は昼食会を開催し、至る所で名刺交換が行われた

2024年JCCH新年会 （2024年1月11日）

ホテルニッコーサイゴンにてJCCHスポーツ・文化委員会主催「2024年JCCH新年会」を開催しました。
本イベントには、550名を超える会員・ご家族の皆様がご参加くださいました。
初めに、在ホーチミン日本国総領事館の小野益央総領事から祝辞を頂いた後、水嶋恒三会頭の乾杯で新年の始まりをお祝いしました。
昨年に続き「極真空手ホーチミン」の皆様より、空手の型や板割等を披露頂き、大いに盛り上がりました。また、恒例となっている餅つきには、お子様から大人まで参加頂き大勢の皆様と共に新年を祝うイベントとなりました。今回より外国商工会議所の方々を招待し、日本らしい新年会をお楽しみいただきました。

▲空手の型や板割等が披露

▲今年度より外国商工会議所の方々をご招待

▲会員同士の交流が活発に行われた

第9回ジャパン・ベトナム・フェスティバル／JVF（日越友好平和ぼんおどり大会）開催 （2024年3月9日）

第9回ジャパン・ベトナム・フェスティバル（JVF）が9月23日公園（ホーチミン市）で開催され、JCCHは「日越友好平和ぼんおどり大会」を共催しました。
今回は例年同様の「日越友好囃」と「日越平和音頭」に加え、2025年に開催される大阪・関西万博のオフィシャルテーマソング「この地球の続きを」盆踊りにアレンジした3曲を踊りました。大阪・関西万博の公式キャラクターのミャクミャクも登場し、大いに盛り上がりました。
会場にはJCCH会員企業のご家族やベトナムの人たちなど多くの方が集まり、やぐらの周りを輪になって踊り、日本の伝統行事である「ぼんおどり」を国境を越えて楽しんでいました。

▲日本人、ベトナム人が一体となって日本文化である盆踊りを楽しみ、日越交流の機会となった

▲やぐらの周りには多くの人が集まった

活動報告 Theme 3 ベトナム社会への貢献と交流促進
ベトナム社会との共存共栄を目指して

我々が事業活動を行い、そして生活しているベトナム社会への感謝の気持ちを込めて、社会貢献活動を行っていくこともJCCHの重要な活動の一つです。
2023年度は日越関係外交樹立50周年記念の節目の年であり、例年以上に活発に活動が行われました。
50周年記念の清掃活動と子ども支援活動を中心に多くの社会貢献活動を実施し、皆様から頂戴した年会費の一部を充当して、ベトナム社会への貢献活動のために活用しました。

日越外交関係樹立50周年記念清掃プロジェクト（2023年8月26日、9月16日、10月28日、12月17日、2024年1月13日）

清掃プロジェクトはベトナムにおける環境問題への取り組みとして2019年にスタートし、2023年度は日越外交関係樹立50周年を記念して実施回数を全5回に拡大しました。
各回ともに、会員企業より延べ738名（うち約7～8割がベトナム人スタッフとその家族）の方々に参加いただき、大人気のイベントとなりました。

【 開催場所・参加者数 】

第一弾：サイゴン動植物園	参加者132名
第二弾：ホーチミン日本人学校周辺	参加者141名
第三弾：タオダン公園	参加者150名
第四弾：バリアブンタウ省 ロンディエンビーチ	参加者190名
第五弾：レーティーリエン公園	参加者125名

▲参加者にはお揃いのポロシャツをプレゼント

▲大人から子どもまで多くの方が参加

日越外交関係樹立50周年記念子ども支援（2023年9月5日、12月20日、12月24日、2024年1月20日、3月7日）

子ども支援活動は、学業機会の確保が困難な子どもや身寄りのない子どもたちへの居住・学習施設に対して必要な支援を行いベトナム社会に貢献することと、ベトナムの将来を担う「子どもたち」に必要な支援を行い日本への興味を抱いてもらうことを目的に実施しました。
2023年度は日越外交関係樹立50周年を記念し全5施設に支援を実施しました。

【 支援先の施設・内容 】

- ホーチミン市ストリートチルドレン友の会 ： 教科書
- ロンホア児童福祉施設 ： PC、スポーツ用具、お米
- ビンチュンドンセンター ： 浄水器、スピーカー、冷蔵庫、照明器具、扇風機
- ホアホン児童福祉施設 ： PC、プリンター、洗濯機
- ニャットホン視覚障碍者センター ： PC、USB、ヘッドフォン、視覚障碍者の移動に必要な杖

▲教科書を受け取り笑顔の子ども

▲全ての施設で日越外交関係樹立50周年事業で上演された『アニオー姫』の漫画を1人1冊寄贈

越日工業大学とのにほんご交流会を開催（2023年9月29日）

社会貢献委員会の臼井委員長と委員7名でホーチミン市にある越日工業大学（HUTECH大学内に設置）を訪問し、日本語を勉強している30名の学生と交流しました。本交流会は、ベトナム人学生の方々に授業で学んだ日本語を実際に使用して頂くことで、JCCHの活動や日本への留学、日系企業への就職等への関心を高めることを目的としています。

▲各自オリジナルの名刺を作成し、名刺を交換

▲委員と学生がグループを作り、日本語で会話を楽しむ

活動報告 Theme 3

ベトナム社会への貢献と交流促進
ベトナム社会との共存共栄を目指して

中高生日本語スピーチコンテストへの支援 （2023年11月25日）

ホーチミン市教育訓練局主催の中高生対象日本語スピーチコンテスト（決勝大会）がレホンフォン高校にて開催され、社会貢献委員会の臼井委員長らが審査員として出席しました。
本コンテストは6回目となり、当日は決勝大会として日本語を学習する中高生約200名から選抜された14名が参加しました。同会場では日本祭りも開催され、書道やけん玉、茶道、折り紙、浴衣の着付けなど、様々な日本文化を体験できるプログラムとなりました。

【ご協賛いただいたJCCH会員企業様（アルファベット順）】
- インターフード様
- ロッテベトナム様
- サクラクレパス様

▲社会貢献委員会から決勝出場者へ賞品を提供

▲日本祭りで浴衣を楽しむ生徒たち

2000ドン社会食堂へ支援 （2023年12月16日）

社会貢献委員会の委員4名がホーチミン市4区にある2000ドン社会食堂4号店を訪れ、運営と食材費の支援を行いました。
同食堂はボンセンチャリティーセンターが運営し、生活困窮者を中心に昼食を格安の2000ドンで提供しています。

▲メニューは豚肉の胡椒煮と茹でオクラ、空心菜の甘酸っぱいスープ

▲開店から30分で用意していた500食が完売

留学生支援セミナーを開催 （2024年1月25日）

2023年度初めての取組みとして、社会貢献委員会は独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）と共催で留学生支援セミナーをWeb方式で開催しました。
本セミナーには、社会貢献委員会に所属するベトナム人委員2名が登壇し、日本への留学や日系企業での経験談、留学に関する有益な情報を伝えました。

▲日本への留学を考えるベトナム人学生ら、50名が参加

子どもたちへの口腔衛生教育と歯磨き指導を実施 （2024年2月24日）

社会貢献委員の松本瑞代歯科医師が、「ホアホン児童福祉施設」（ホーチミン市クチ県）で生活する子どもたちに口腔衛生教育と歯磨き指導を実施しました。歯ブラシやフロス、キシリトールガムの寄贈も行いました。

【ご協賛いただいたJCCH会員企業様（アルファベット順）】
- キー・ワークスベトナム様
- ロッテベトナム様

▲熱心に歯磨き指導を受ける子どもたち

▲歯磨き後の素敵な笑顔

活動報告 Theme 4 学び 事業に役立つ学び

JCCHでは各分野の専門家が講師として登壇する、会員対象の無料セミナーを定期的に開催しています。毎回定員を超える申し込みがある程、ご好評を頂いております。
2023年度も税制と法律に関するセミナーから、快適で安全な暮らしのための生活情報まで、広範囲にわたるセミナーを開催しました。
セミナー以外にも様々な学びの機会など、当地で事業や生活をされている会員企業様向けに役に立つ情報を提供しています。

「ベトナム労働法セミナー(基礎編)」を開催 (2023年10月4日)

労務委員会主催の「ベトナム労働法セミナー(基礎編)」をハイブリット形式にて開催しました。当日は労務委員会所属の弁護士と企業委員が登壇し、事例を用いた解説や各社対応事例についてなど、ベトナム労働法の基礎や最近発行された政令70号などの最新情報を解説いただきました。
当日はオンラインとオフラインを合わせて188名が参加しました。

▲第1部講師 大矢 和秀弁護士(西村あさひ法律事務所ホーチミン事務所)

▲第2部講師 三木 康史弁護士(アンダーソン・毛利・友常法律事務所ホーチミンオフィス)

〈 登壇者 〉

委 員 長:新田 和男氏(オリンパスベトナム)
副委員長:中川 幹久氏(長島・大野・常松法律事務所)
講　　師:大矢 和秀弁護士(西村あさひ法律事務所 ホーチミン事務所)
　　三木 康史弁護士(アンダーソン・毛利・友常法律事務所ホーチミンオフィス)
企業委員:武村 先氏(出光興産ホーチミン鉱業所)
　　望月 大輔氏(日星電気ベトナム)
　　児玉 圭太氏(VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL)
　　宮浜 健一氏(エスファイブサイゴン)
　　安井 悦也氏(ビナエコボード)
　　大谷 義行氏(KYCベトナム光洋機械産業)

▲企業委員によるパネルディスカッション

「ラウンドテーブルフィードバックと第2回 労働法セミナー」を開催 (2024年2月28日)

事業環境委員会と労務委員会は「ラウンドテーブルフィードバックと第2回労働法セミナー」をWeb形式で合同開催しました。本セミナーでは、前半は2023年度のホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルの議論成果について小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、中川幹久副会頭兼事業環境委員長、池田重之生活環境委員長より報告いただき、後半は同中川幹久弁護士(長島・大野・常松法律事務所/JCCH副会頭 兼 事業環境員長)より、政令70号の最新情報をわかりやすく解説いただきました。

▲セミナー講演時の様子。当日はオンラインで122名が参加

「消防検査証明の取得及び保管ラック付き倉庫の消防設備基準に関するセミナー」を開催 (2023年6月16日)

税務・通関委員会主催で、「消防検査証明の取得及び保管ラック付き倉庫の消防設備基準に関するセミナー」をハイブリット形式にて開催しました。本セミナーでは、『消防検査証明書』に関する問題の本質と現状に関して解説を頂きました。

講師:小野瀬 貴久氏(EYベトナム/JCCH副会頭 兼 税務・通関委員長)
　　今村 年秀氏(ダイワハウスベトナム)
　　宮本 英輔氏(DDC社)

▲オンラインとオフラインを合わせて340名が参加

活動報告 Theme 4

学び
事業に役立つ学び

「e-invoiceをめぐる世界のトレンドと日本の状況」セミナーを開催 （2023年7月24日）

税務・通関委員会主催で、「e-invoiceをめぐる世界のトレンドと日本の状況」セミナーをロイヤルホテルサイゴンで開催しました。本セミナーは、加藤 博之氏（デジタル庁国民向けサービスグループ企画官）より、「e-invoice」をキーワードに、ベトナムや日本の取組みを取り上げつつ、グローバルの大きな流れの中で、請求を中心としたバックオフィス業務が近い将来どのように変わっていくのかについてご講演頂きました。

▲講師の加藤 博之氏（デジタル庁国民向けサービスグループ企画官）

▲当日は52名が参加

「データでみるベトナム経済～ベトナムって本当に不況なの？～」セミナーを開催 （2023年10月10日）

税務・通関委員会主催で、「データでみるベトナム経済～ベトナムって本当に不況なの？～」をロイヤルホテルサイゴンにて開催し、川井 千春氏（Fin Group取締役・株式会社QUICK）より、ベトナムの上場企業や金融機関の財務情報などから紐解いたリアルな景況感についてご講演をいただきました。
本セミナーは会員企業様より関心が高く、ご案内の翌日にすぐ定員に到達し、その後会場拡大やハイブリッド開催への変更を経て、当日を迎えました。

▲講師の川井 千春氏（Fin Group取締役・株式会社QUICK）

▲司会進行を務めた小野瀬 貴久副会頭 兼 税務・通関委員長

▲当日は360名が参加

「生活セミナー」を開催 （2023年12月20日）

生活環境委員会主催の本セミナーでは、佐藤 浩一領事（在ホーチミン日本国総領事館）より生活安全情報ついて、白井 拓史医師（ロータスクリニック）より健康医療情報についてご講演をいただきました。
オンラインとオフラインを合わせて94名が参加しました。
参加者アンケートでは「最新のベトナム安全情報（犯罪情報）がよくわかった」、「気を付けなければならないことを改めて感じるとともに、デング熱の知識等、知ることが出来てよかった」などの感想がありました。

▲第1部講師の佐藤 浩一領事（在ホーチミン日本国総領事館）

▲第2部講師の白井 拓史医師（ロータスクリニック）

活動報告 Theme 4

学び
事業に役立つ学び

税務・通関委員会主催　税制セミナーシリーズを開催（全5回）

税務・通関委員会では毎年大好評の税制セミナーを2023年度も開催しました。
2023年度は全てWEB開催とし、5つのテーマに分けて会員企業の関心の高い、税制の基礎や税務調査の最新動向について解説しました。

▲合計の参加者数は768名。各回とも9割以上の方がアンケートで「大変良かった」、「良かった」と回答

第1回
- 日　時　：2023年10月18日（水）
- テーマ　：個人所得税編
- 講師名・役職　：グラントソントンベトナム ダイレクター　仁科 仁氏
- 視聴者数　：127名

第2回
- 日　時　：2023年11月21日（火）
- テーマ　：移転価格税制編
- 講師名・役職　：EY ベトナム シニアマネージャー　髙野 宏太氏
- 視聴者数　：173名

第3回
- 日　時　：2023年12月19（火）
- テーマ　：付加価値税・外国契約者税編
- 講師名・役職　：AGS ACCOUNTING マネージャー　鶴田 明久氏
- 視聴者数　：148名

第4回
- 日　時　：2024年1月16日（火）
- テーマ　：法人税制編
- 講師名・役職　：エスコンサルティングベトナム ゼネラルディレクター　高田 真氏
- 視聴者数　：115名

第5回
- 日　時　：2024年2月20日（火）
- テーマ　：最新議論情報提供・税務調査編
- 講師名・役職　：KPMG　ダイレクター　谷中 靖久氏
  シニアマネージャー　古屋 秀規氏
- 視聴者数　：205名

活動報告 Theme 5

協力と交流
国内外との積極的なネットワーク作り

JCCHでは部会の枠を超えた会員同士が交流する機会の創出や、ベトナム国内・国外の諸団体との協力関係の構築にも取り組んでいます。
そして、会員の皆様にお役立ていただけるよう、ネットワークの拡大・深化に努めています。

新規入会企業とJCCH役員及び理事との交流会 （2023年7月19日）

本イベントは企業交流委員会主催で、理事及び新入会員の皆様との懇親を深め、新入会員の皆様にご入会後、JCCH活動へ積極的にご参加頂けるよう企画されました。新規入会企業様には自社紹介の時間を設け、各社の商品やサービスをご紹介頂きました。

▲当日は理事と新規入会企業様合わせて50名以上が参加

▲会場では参加者が至る所で名刺交換、活発に交流が行われた

ASEAN事務総長とのアセアン日本商工会議所連合会（FJCCIA）との対話会合 （2023年8月2日）

インドネシア・ジャカルタのASEAN本部にて「ASEAN事務総長とのアセアン日本商工会議所連合会（FJCCIA）との対話会合」が開催され、JCCHから水嶋恒三会頭、松本暢之副会頭、上田真也事務局長が出席しました。
本対話会合は、アセアン各地の日系企業が抱えるビジネス上の様々な課題や改善点をASEAN事務総長に直接伝える場として毎年開催されています。

▲参加者による集合写真

第1回ふらっとJCCH （2023年10月6日）

本イベントは企業交流委員会主催で、「ふらっと、気軽に立ち寄れる交流の場」をテーマとして2017年度より開催しており、部会、業種、世代の枠を超えた会員相互の交流の機会として、JCCH会員間のネットワーク作りの場として定着してまいりました。

▲より多くの会員同士が交流できるように立食スタイルで開催

▲当日は81名が参加

ドンナイ省における「日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会」（2023年11月9日）

ドンナイ省人民委員会、ホーチミン日本商工会議所、近畿経済産業局、一般財団法人海外産業人材育成協会の共催による本イベントは、日系企業における現地調達率の向上や、現地企業との商談機会の創出を目的として開催されました。
日系企業とのビジネス拡大に意欲的なベトナム企業42社、JCCH会員企業をはじめとした日系企業45社が参加しました。

▲今年度で7回目の開催

▲各社のブースでは名刺交換や個別面談が活発に行われた

活動報告 Theme 5

協力と交流
国内外との積極的なネットワーク作り

JCCH&CCIFV交流イベントを開催 （2023年11月16日）

在ホーチミン日仏商工会議所の交流促進を目的に、JCCHとフランス商工会（CCIFV）との合同イベントが、在ホーチミンフランス総領事公邸で開催されました。
日本側より、小野益央総領事、JCCH水嶋恒三会頭、岩本英久広報委員長のほか、執行役員・部会長含め20名が参加し、同日に解禁されたボジョレーヌーボーを片手に交流が行われました。また、当日はビストロ ルアの日本人ソムリエの山本遊様よりワインに関するプレゼンテーションが行われました。

▲ビストロ ルアの日本人ソムリエである山本 遊様

▲参加者たちはワインを楽しみながら交流

【 ご協賛いただいたJCCH会員企業様 】
● カメイベトナム様

新規赴任者交流会を開催 （2024年1月19日）

企業交流委員会主催で、新規赴任者交流会を開催しました。参加者の中には来越1週間以内の方もおられ、新たな環境への不安もある中、同じような境遇の方々と交流することで「ベトナム赴任同期」の輪が広がりました。

▲平田智有企業交流委員長の乾杯挨拶から始まる

▲当日は51名が参加

第2回ふらっとJCCH （2024年3月14日）

2023年度2回目となるふらっとJCCHを開催しました。会場では年齢や性別、業種・職種を超えた参加者が集い、大いに盛り上がりました。

▲当日は84名が参加

▲会場には色鮮やかなピザ4P's の料理が並んだ

ホーチミン市人民委員会とFDI企業との会合 （2024年3月14日）

ホーチミン市人民委員会主催で、「市のリーダーと2023年業績絶好調な外国企業との会合」が開催され、JCCHからは小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、上田真也事務局長らが出席しました。

◀小野瀬 貴久副会頭 兼 税務・通関委員長とホーチミン市人民委員会のファン・ヴァン・マイ委員長

日越共同イニシアティブキックオフ会合 （2024年3月27日）

日本とベトナムの官民連携の枠組みである「新しい日越共同イニシアティブ」第1フェーズのキックオフ会合が、ハノイで開催されました。
JCCHからは小野瀬貴久副会頭 兼 税務・通関委員長が裾野産業の育成、中川幹久副会頭 兼 事業環境委員長が司法制度改革を担当しています。

◀参加者による集合写真

委員会別活動報告

JCCHでは、それぞれ異なるテーマを持つ10の実行委員会と、必要に応じて設置する特別委員会が活動を支えています。JCCHの様々な事業を企画、運営、推進するのが、これらの委員会です。委員会は1名の委員長、1名以上の副委員長と、複数の委員によって構成されています。委員会への参加は各委員会の主旨・専門性に基づき、所属部会に関係なく組織されています。

事業環境委員会

委員長
中川 幹久
（長島・大野・常松法律事務所）

2023年度はホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルを中心に活動を行いました。ホーチミン市人民委員会との関係強化の観点から、来年度以降どのような取り組みができるかさらに検討して参ります。また、ホーチミン市とのラウンドテーブルの取り組みをいかに周辺省に活かしていくか、どのように連携関係を構築するかについては引き続きの課題です。

ラウンドテーブル

- 6月14日(水) ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル 、ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのキックオフ会議
- 6月26日(月) ラウンドテーブルに向けた会員向けアンケート送付
- 9月11日(月) ホーチミン市人民委員会へラウンドテーブル要望書の提出
- 10月20日(金) プレラウンドテーブル(生活環境)
- 10月23日(月) プレラウンドテーブル(税務・通関)
- 10月27日(金) プレラウンドテーブル(法務・労務)
- 12月14日(木) ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(本番)

主な活動

- 6月15日(木) ラウンドテーブルフィードバックセミナーと最新法務税務事情セミナー
  講 師：長島・大野・常松法律事務所 中川 幹久氏
  EYベトナム 小野瀬 貴久氏
- 8月28日(月) 環境政策セミナー
  「2020年環境保護法改正以降の環境政策動向～QCVN改正、EPR等について～」
  講 師：JICA専門家 環境管理アドバイザー 安達 一郎氏
- 11月2-4日(木-土) 海外視察団(インドネシアジャカルタ視察)
- 12月22日(金) 日越共同イニシアティブ(新フェーズ)プレキックオフ会合
- 2月28日(水) 労務委員会と共催「ラウンドテーブルフィードバックと第2回労働法セミナー」
  講 師：長島・大野・常松法律事務所 中川 幹久氏
- 3月27日(水) 日越共同イニシアティブ(新フェーズ)キックオフ会合

委員会会合

- 5月24日(水)、6月14日(水)、7月20日(木)

労務委員会

委員長
新田 和男
（オリンパスベトナム）

2023年度は労務セミナー、賃金実態報告、ラウンドテーブルにより、会員企業への労務関連情報の提供、同分野の諸問題や要望の取りまとめ、行政への課題提言を行いました。特に9月制定の政令70号等、関心の高い点に着眼し、ラウンドテーブルや労働法セミナーに積極的に取り上げました。また、JCCI労務委員会と合同委員会を開催し、南北での労務関連情報の充実に努めました。

ラウンドテーブル

- 6月14日(水) ホーチミン市人民委員会・ITPCとのキックオフ会議
- 10月27日(金) ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル
- 12月14日(木) ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(本番)

主な活動

- 10月4日(水) 第1回労務セミナー(ハイブリッド形式)
  テーマ：「2023年度 労働法基礎セミナー」
  講 師：西村あさひ法律事務所 大矢 和秀氏
  アンダーソン毛利友常法律事務所 三木 康史氏
- 12月1日(金) 2023年度 JCCH賃金実態調査報告書発行
- 2月28日(水) 第2回労務セミナー&HCMCラウンドテーブルフィードバックセミナー同時開催(オンライン形式)
  テーマ：「政令70号のポイントとその後の状況」
  講 師：長島・大野・常松法律事務所 中川 幹久氏

委員会会合

- 5月30日(火)、7月6日(木)、9月7日(木)、12月7日(木)、2月19日(月)
  12月7日(木)はJCCI労務委員会との合同開催(ホーチミン市)、また、1月19日(金)は労務委員会に出席(ハノイ)

税務・通関委員会

委員長
小野瀬 貴久
（EYベトナム）

本年度も税制ウェビナーを5回開催させて頂きました。加えて不況セミナーや耐火セミナーなども開催し、多くの会員企業にご参加頂きました。良いフォードバックを頂戴しており、今後の継続開催を検討していきます。また、本年度は各市省の税務局や税関局とも積極的に交流や意見交換を重ね、多くの意見書も提出いたしました。今後ともこれらの活動により会員企業の事業に貢献できるよう目指して参ります。

税制ウェビナーの開催

- ●10月18日(水)　個人所得税制編
  講 師：グラントソントンベトナム 仁科 仁氏
- ● 11月21日(火)　移転価格税制編
  講 師：EYベトナム 高野 宏太氏
- ●12月19日(火)　付加価値税・外国契約者税編
  講 師：AGS ACCOUNTING 鶴田 明久氏
- ● 1月16日(火)　法人税編
  講 師：エスコンサルティングベトナム 高田 真氏
- ● 2月20日(火)　税務調査編
  講 師：KPMG 谷中 靖久氏 & 古屋 秀規氏

主な活動

- ● 5月10日(水)　税関総局との会合及び会食会
- ● 5月19日(金)　ドンナイ省税関局とのミーティング
- ● 6月16日(金)　耐火認定及びラック問題に関するセミナー
- ● 6月23日(金)　ドンナイ省税関局主催FDI企業との意見交換会
- ● 6月28日(水)　通関WT会合
- ● 7月4日(火)　台湾商工会議所とのオンザスポット取引に関する打ち合わせ
- ● 7月24日(月)　セミナー「e-invoiceをめぐる世界のトレンドと日本の状況」
- ● 8月9日(水)　税関総局との意見交換会
- ●10月10日(火)　セミナー「データでみるベトナム経済　～ベトナムって本当に不況なの？～」
- ●10月23日(月)　プレラウンドテーブル

ラウンドテーブル

- ● 事業環境委員会と連携し税務、通関を担当。詳細は事業環境委員会の報告を参照
- ● 解決できなかった案件に関してはラウンドテーブル開催後もホーチミン市税務署との協議を継続
- ● 耐火素材は昨年度から対応をしてきたが、ある程度の方向性が固まったことでセミナーを開催

生活環境委員会

委員長
池田 重之
（ベトナム三菱商事）

ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルでは、タンソンニャット国際空港の運営改善に絞り込んだ要望を提示し、一定の進展を確認することができました。今後も、会員企業様とホーチミン市の双方にとってプラスになるような提案を行って参ります。

主な活動

- ● 6月14日(水)　ホーチミン市人民委員会・ITPCとのキックオフ会議
- ● 6月下旬　ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルに向けたアンケートを実施
- ● 7月11日(火)　生活環境委員会、ラウンドテーブルに向けた議論
- ● 8月25日(金)　ラウンドテーブル向け要望事項を提出(生活環境改善パート)
- ● 9月27日(水)　事業環境委員会に出席(ラウンドテーブル向け打ち合わせ)
- ●10月20日(金)　ホーチミン市人民委員会とのプレラウンドテーブル(生活環境パート)
- ●12月14日(木)　ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(レックスホテル)
- ●12月20日(水)　生活環境セミナー開催(ホテルニッコーサイゴンとWEBのハイブリッド開催)
  テーマ：「生活安全情報」
  講　師：在ホーチミン日本国総領事館領事 佐藤 浩一氏
  テーマ：「健康医療情報」
  講　師：ロータスクリニック 白井 拓史氏

委員会会合

- ● 6月12日(月)、7月11日(火)

社会貢献委員会

委員長
臼井 勝彦
（サッポロベトナム）

JCCHの活動方針の一つである「ベトナム社会への貢献」につき、当委員会では今後の活動実績をJCCHのプレゼンス向上に繋げていくべく「積み上げ」をテーマに、社会貢献を実施しました。本年は日越外交関係樹立50周年でもあり、「清掃活動」と「子ども支援」にフォーカスした取り組みを行い、特に清掃活動では会員の皆様に数多くご参加を頂きました。今後とも社会貢献活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

主な活動

- 8月26日(土)　50周年清掃活動@サイゴン動植物園(132名参加)
- 9月5日(火)　50周年子ども支援@ホーチミン市ストリートチルドレン友の会(教科書他寄贈)
- 9月16日(土)　50周年清掃活動@7区日本人学校周辺(141名参加)
  ※日本人学校ではこの活動を機に中学部1年生の宿泊研修にて清掃活動を実施
- 9月29日(金)　にほんご交流会@越日工業大学
- 10月28日(土)　50周年清掃活動@タオダン公園(150名参加)
- 11月25日(土)　中高生日本語スピーチコンテスト@レホンフォン高校
- 12月16日(土)　2千ドン食堂サポート(6か所へ食堂の手伝い並びに食料代寄贈)
- 12月17日(日)　50周年清掃活動@バリアブンタウ省ロンディエンビーチ(190名参加)
- 12月20日(水)　50周年子ども支援@ロンホア児童福祉施設(電化製品、食料他寄贈)
- 12月24日(日)　50周年子ども支援@ビンチュンドンセンター(電化製品他寄贈)
- 1月13日(土)　50周年清掃活動@レーティーリエン公園(130名参加)
- 1月20日(土)　50周年子ども支援@ホアホン児童福祉施設(電化製品他寄贈)
- 1月25日(木)　留学生希望者支援セミナー(50名参加)
- 2月24日(土)　50周年子ども支援@ホアホン児童福祉施設(歯磨き指導実施)
- 3月7日(木)　50周年子ども支援@ニャットホン視覚障害者センター(スピーカー、琴等寄贈)

委員会会合

- 5月16日(火)、6月20日(火)、7月18日(火)、9月19日(火)、10月17日(火)、11月21日(火)、12月19日(火)、1月16日(火)、2月20日(火)、3月19日(火)にて10回実施

スポーツ・文化委員会

委員長
小野瀬 貴久
（EYベトナム）

昨年度の活動を踏襲しつつ、各イベントのブラッシュアップを行い、多くのイベントを開催させて頂きました。特に日越外交関係樹立50周年記念イベントの1つとなったJCCH懇親ゴルフ大会では初めてホールインワンが達成され、大会に花を添えました。

主な活動

- 10月15日(日)　日越外交関係樹立50周年記念JCCH大運動会
- 12月 3日(日)　JCCH懇親ゴルフ大会
- 1月 11日(木)　新年会
- 3月9日(土)　ジャパン ベトナム フェスティバル(JVF)での日越友好平和ぼんおどり大会

委員会会合

- 5月22日(月)、8月23日(水) 、9月26日(火)、10月18日(水) 、3月 21日(木)

日本人学校運営委員会

委員長
上阪 克之
（全日本空輸）

コロナ禍で一時的に減少していた児童・生徒数も633名（2024年2月時点）と再び増加傾向が顕著となっています。教室不足が喫緊の課題となっている状況で第5期校舎増築計画をまとめ、2025年度（期中）竣工を目標に実行フェーズに進める事ができました。

主な活動

- 4月11日(火)　入学式
- 6月11日(日)　ホーチミン祭
- 10月1日(日)　運動会
- 3月13日(水)　中学部・小学部　卒業証書授与式

委員会会合

- 5月10日(水)、7月12日(水)、9月13日(水)、11月8日(水)、1月10日(水)、2月21日(水)

企業交流委員会

委員長
平田 智有
（ゼンショーベトナム）

例年通り会員企業同士の交流会を中心に活動を行いました。それに加え、ビジネスマッチング会やVJCC「経営塾」の入閉講式への出席等、活動の幅も増えてJCCH会員企業同士の中身の濃い交流の場を設けることができました。次年度は本年度の活動をブラッシュアップし、JCCH会員企業同士の新しい交流の機会を企画・運営していきます。

主な活動

- 6月23日(金)　新規赴任者交流会
- 6月28日(水)　VJCC「経営塾」18期生入講式
- 7月19日(水)　JCCH理事と新規入会企業との交流会
- 9月14日(木)　VJCC「経営塾」17期生閉講式
- 10月6日(金)　ふらっとJCCH
- 11月9日(木)　ドンナイ省ビジネスマッチング会
- 1月19日(金)　新規赴任者交流会
- 3月14日(木)　ふらっとJCCH

委員会会合

- 5月19日(金)、11月21日(火)、3月22日(金)

広報委員会

委員長
岩本 英久
（東京海上ベトナム）

会員企業にとって必要かつ有益な情報、活動内容について各種ツールを使いタイムリーに発信して、会員への認知と満足度向上に努めました。また、各部会・委員会の活動をSNSや各メディアへ情報発信すると共に、他国の商工会議所との交流を通じて、JCCHのプレゼンス向上を図りました。特に今年度は日越外交関係樹立50周年の広報活動を強化した1年となりました。

主な活動

- JCCH日越外交関係樹立50周年記念特設サイトを作成し、日本側実行委員会特設サイトへ誘導するようにした。
  また、JCCHホームページに新たに社会貢献活動ページを設置
- 2023年7月にJCCHカードとCapichiとの連携が実現し、3月時点で延べ1,500回以上利用された。
  また、JCCHカードWEBサイトの検索ページの各種検索方式を大幅に改善
- 社会貢献活動、JCCH大運動会、企業交流、セミナーや「メコンの風2023」から抜粋して、フェイスブックにJCCH活動内容を投稿
- 2023年9月に韓国商工会議所と懇親ゴルフ、同11月にフランス商工会議所と合同イベント、
  2024年1月の新年会に各国商工会議所の方々を招待するなど、各国商工会議所との交流を促進

主な活動実績

- 日越外交関係樹立50周年イベントのJCCH内の広報並びに在ベトナム日本語メディアへのニュースリリースの依頼
- JCCH各種ウェブサイトの新設・改修
- 年会誌「メコンの風2022」発行(2023年7月)並びに「メコンの風2023」の作成
- JCCHカードの利便性向上(Capichiとの連携、加盟店促進、検索ページの改善)
- フェイスブックを活用したJCCH活動内容の情報宣伝
- 各国商工会議所との交流促進(渉外担当)

委員会会合

- 5月26日(金)、6月27日(火)、7月25日(火)、8月30日(水)、9月26日(火)、11月28日(火)、2月1日(水)、3月5日(火)

組織・規約委員会

委員長
和田 正明
（みずほ銀行）

会員企業数が1,000社を超えダイバーシティがさらに加速する中、JCCH組織運営の旗振り役として、各種制度の改正や運営見直し、日越外交関係樹立50周年記念事業への具体的な助言・関与を進めて参りました。2023年度も、識者を委員とする組織・規約委員会の恒例的な開催により、懸案事項や議案を集中的に討議、商工会議所活動の下支えを行いました。

主な活動

- 会員企業入会・退会管理と年度内会員名簿の更新、会費徴収の管理
- 諸規約・規則の整備：内規・規程類の更新
- 日越外交関係樹立50周年に係るJCCH主催事業の枠組み作り、組織構築
- JCCH各委員会・部会活動への助言・提言

主な活動実績

- 日越外交関係樹立50周年記念事業へのサポート
- 2023年度会員企業向けアンケート実施（2024年2月）
- 理事定数見直し（案）
- 日本人学校増築計画（案）
- JCCH事務局基本活動へのサポート（採用面接、人事運営他）
- JCCH事務局運営ルール見直し（内規・規程類の整備、各種制度の変更）

委員会会合

- 4月5日（水）、5月10日（水）、6月9日（金）、9月6日（水）、11月8日（水）、12月7日（木）、1月23日（火）、3月18日（月）

日越外交関係樹立50周年記念事業（特別）委員会

委員長
古澤 康之
（イオンベトナム）

2023年度は日越外交関係樹立50周年を迎え、日本、ベトナム共に大変活発な交流が行われました。本年度は昨年度に決定したJCCH方針の元、イルミネーションパーク、Eスポーツ大会、大運動会、社会貢献活動、日越友好ソング「Tomodachi」プロジェクト等、JCCHらしく日越の多くの人たちが参画できる企画を実施して参りました。将来のさらなる発展に向けた日越の交流、日本のプレゼンス向上に委員会として貢献できたと考えております。

主な活動

＜2022年度＞

- 2023年2月～4月 ： JCCH理事会での2023年度活動計画、予算の承認
- 2月25日（土）、26日（日） ： ジャパンベトナムフェスティバル in 9月23日公園
- 3月12日（日） ： 志の輔落語 in ホーチミン、イルミネーション企画 in バグダン公園

＜2023年度＞

- 8月～3月 ： 50周年清掃活動と子ども支援活動
- 10月 ： Eスポーツ大会 in ホーチミン市、50周年大運動会 in 日本人学校
- 10月～12月 ： 日越友好ソング「Tomodachi」プロジェクト
- 3月、4月定期総会 ： JCCH日越外交関係樹立50周年特別委員会活動報告

委員会会合

- 6月7日（水）、8月22日（火）、1月9日（火）、3月13日（水）

部会別活動報告

商工会議所活動の基本となるのが「部会」です。部会は、各社事業内容もしくは地域毎に分かれており、現在、JCCH には 13 の部会があります。それぞれの部会に含まれる業種・地域については右の表をご覧ください。各部会は、部会長、副部会長に数名の理事を加えた役員によって運営されています。いずれの場合も、活動の基本となるのは「部会会合」で、約2か月に1回、開催されています。これに加え、所属する会員企業のニーズに合わせ、工場見学会や勉強会、親睦を深めるための新年会やゴルフなど、それぞれ特色のある活動を行っています。

部会名称	業種区分・地域区分
貿易部会	貿易、商業
建設部会	建設、建材関連
運輸部会	陸海空運、倉庫運輸関連
第一サービス部会	コンサル、人材派遣、広告、流通小売、内装、教育等
第二サービス部会	旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備等
IT 部会	情報通信、ITソフトウェア開発
金融・保険部会	金融保険、不動産ファイナンス
（製造業）	
タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地及びリンチュン工業団地入居製造業等
ホーチミン市部会	上記以外ホーチミン市及びその他地域に所在する製造業等
ビンズン部会	ビンズン省に所在する製造業等
ドンナイ部会	ドンナイ省に所在する製造業等
ロンアン部会	ロンアン省に所在する製造業等
バリアブンタウ部会	バリアブンタウ省に所在する製造業等

貿易部会

各分野における専門家による講演会やホーチミンメトロ現場視察会を開催し、横の交流も実現

部会長
大木 直伸
（ベトナム住友商事）

2023年度は計6回の講演会を実施。テーマは①「関税・通関アップデート」、②「最近の中国情勢と越中関係」、③「ベトナム経済の足元の実体と今後の見通し」、④「ボージョレヌーボーの夕べ」、⑤「ホーチミンメトロ1号線の現場見学会」、⑥「VJCC（ベトナム日本人材高度教育インスティテュート）の活動／ベトナムの歴史」。

最近のベトナムでのビジネストピックを中心に、多くの会員企業様に参考にして頂けそうなテーマで講演会を開催いたしました。また、関心の高いホーチミンメトロの現場視察会や、ボージョレヌーボーを愉しみながら学ぶ機会を設けるなど、他部会との共催による交流も実現できました。

なお、9月と3月にはゴルフコンペも開催し、会員企業の皆様の交流の場として活用頂きました。

▲金融・保険部会との合同部会（3月20日）

建設部会

有意義な繋がりの持てる部会運営、部会内外との交流を継続

部会長
佐々木 博和
（ダイワハウスベトナム）

2023年度は計6回の定例会・講演会・懇親会を開催し、各回ともに90名前後の会員参加により充実したものとなりました。講演会は「鉄骨耐火材料に関わる法改正」、「高速道路開発計画と環状3号線について」、「土間沈下修正工法の紹介」など建設に関するものから、AMC 講師とホーチミン市の公安の方を招いての「消防法に関連する法律規制の紹介」など、有意義な繋がりの持てる内容で開催しました。親睦ゴルフコンペも年4回実施できました。

また昨年に引続き、SACA（ホーチミン市建設・建材協会）を招いてのビジネスマッチングも実施。運輸部会及びビンズン部会との合同部会開催と、垣根を越えた交流も行うことができました。

私自身、任期途中での就任でしたが、会員の皆様のご協力により、安定した部会運営を行うことができました。心より感謝申し上げます。

▲SACA（ホーチミン市建設・建材協会）との企業交流会（1月18日）

▲運輸部会との合同部会（9月28日）

運輸部会

会員企業同士及び他部会の会員企業との交流をテーマに、部会の垣根を越えて積極的に活動

部会長
宮城 孝浩
（日本航空）

当部会は「会員企業同士及び他部会の会員企業との交流」を部会活動のテーマに活動しました。アフターコロナで対面での集会を行うことができるようになりましたので、定例会や部会のゴルフコンペも開催でき、会員企業同士の情報交換と親睦の機会になりました。

また、他部会との合同部会セミナーを積極的に行いました。セミナーでは、ベトナム人とのコミュニケーションとマネジメントをテーマにした講演や、ホーチミンメトロ見学会などを開催し、会員企業の学びや情報収集の機会を提供することができました。

▲ホーチミンメトロ視察会の様子（1月24日）

▲JCCI 運輸部会との懇親会（9月12日）

第一サービス部会

ベトナムを「消費市場」と捉え、話題の講師を迎えたセミナーを開催

部会長
野田 恵里子
（サフェックストレーディング）

「部会を学びと刺激のある場に」をテーマに定例部会を開催。コロナ禍が一部残る昨年から一変、リアルでの開催かつ合同部会をメインに企画。部会参加率を上げるために毎回テーマを模索しました。次年度に向けた課題は残りましたが一定の傾向は把握できました。

ベトナムのキャラクタービジネスについてや、イオンベトナム様の事業戦略、ベトナム Z 世代をターゲットにした新興ビジネス、繁盛店を支えるベトナム戻り人材についてなど、ベトナムを「消費市場」と捉えた講話を企画。また11月には英語によるワインセミナーなども実施。

次年度については理事を刷新し、理事会報告の伝達に加え、会員企業からの声を収集できる部会となるよう進化させていきたいと思います。

▲イオンベトナム古澤社長による講話（7月21日）

▲ボージョレヌーボー解禁の時期にワインセミナーを実施（11月23日）

第二サービス部会

異業種とのネットワーキングが人気、他部会との合同部会を実施

部会長
藤島 洋
（ALSOKベトナム
セキュリティサービス）

当部会は、旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備などの多業種の企業で構成されており、当地でのネットワーキング活動が活発に行われております。本年度は6回の部会が開催され、そのうち5回は合同部会でした。5年ぶりに開催された4部合同部会（第一、第二、金融・保険、IT）懇親ゴルフでは60名の参加があり、活発なネットワーキングが行われました。

また、セミナーでは、「ドラえもんで学ぶベトナムエンタメ事業」、「顧客の99% がベトナム人 Z 世代の企業の成長の秘訣」、「実習生の実情、ベトナムの若者から見た日本の魅力は何かなどを通じた、日越関係の現状と今後について」、「ベトナムの力を引き出す：繁盛店の舞台裏と成功のための人材戦略」とエンタメ、人材、飲食業界の方に講演頂き有意義なセミナーとなりました。今後も積極的に合同部会を開催していく予定です。

▲4部合同部会懇親ゴルフ（10月22日）

▲3部合同部会（12月12日）

IT部会

部会員が直面した課題共有や部内外の交流を積極的に実施

部会長
岸菜 圭一郎
（ベトナムキューブシステム）

部会は隔月実施（計6回）し、他部会との合同部会含め、毎回50名以上の方に参加して頂きました。部会では、主にセミナーの開催、課題の共有や意見交換を実施しました。9月には現地向けサービス共有会を実施。IT 部会所属の会社が横連携して、現地サービスの満足を高めるべく具体的なサービス紹介を実施しました。会員企業社員交流としてのフットサル大会も32チームが参加して、開催することができました。

また、恒例の労務環境調査を実施し、報告会（12月）では、部会内の職場労働環境、賃金レベルの確認、ベトナム労働法に関する注意点について、弁護士の先生をお招きし、活発な意見交換を行いました。

増加している IT 部会会員企業の要望に応えるべく、年2回のゴルフコンペも含めて部内外の交流を深めつつ、積極的な活動を継続していく予定です。

▲第1回部会の懇親会
（5月30日）

▲第5回部会（2月1日）

金融・保険部会

合同部会の積極開催により、様々な業種の会員とのネットワーキングを実現

部会長
埜﨑 孝雄
（三菱UFJ銀行）

金融・保険部会は日頃のビジネスで様々な業種の方々と交流があり、今年度の商工会議所活動でも他部会との交流を積極的に図って参りました。特に第一サービス部会、IT 部会、貿易部会との合同定例部会は新たなネットワーキングの機会として大いに盛り上がりました。

また、ホーチミン証券取引所の現地見学会を開催し、近年日本の投資家から注目されるベトナム証券市場の知識を深める取り組みも実施致しました。

▲ホーチミン証券取引所見学会
（1月31日）

ホーチミン市部会

各会員共通の関心事をテーマに部会を開催

部会長
坂野 慎後
（富士フイルムビジネス
イノベーションベトナム）

ホーチミン市部会は会員企業の業種が多岐にわたるため、「歴史」、「健康」、「採用・エンゲージメント管理」、「人材育成」、「食」、「経済」と会員が共有している関心の高いテーマを取り上げ、計6回部会講演会を開催しました。

また、2年ぶりに合同部会（第二サービス部会・運輸部会）を開催できました。年3回の懇親ゴルフコンペを含め、会員間の親睦を深めることができました。今後も会員の皆様からのフィードバックを参考にしながら、有益な情報・機会を提供できるよう積極的に活動して参ります。

▲第5回部会講演会
（1月24日）

▲第3回懇親ゴルフコンペ
（3月10日）

タントアン・リンチュン部会

変化を感じる1年!

部会長
秋本 浩
(UACJ)

本年は昨年に続き、部会での定期会合や親睦活動(懇親ゴルフコンペ・忘年会)を計画通りに実施できました。そのような中で、部会参加企業の中では、人事異動が活発になった年となりました。7月には副部会長が転任、10月には部会長も帰任され、タントアン・リンチュン部会の理事全員が期中に交代するという、変化に富んだ1年に。

また、部会活動ではIT部会の3社様にご協力いただき、ITセミナーを実施しました。この活動は他部会との交流の有益さを実感できる機会となりました。そして今後、部会内の活動を部会を跨いだ活動へと拡げることで、活動が活性化されていくイメージを持つ機会となりました。JCCHには様々なリソースがあります。我々を取り巻くビジネス環境の変化を感じつつ、そのリソースの支援を得て、今後も歩を進めていきたいと考えています。

▲部会忘年会(12月20日)

ビンズン部会

新しい企画にチャレンジした1年

部会長
長戸 隆彦
(ベカメックス東急)

部会企業同士の交流を深める目的で、いくつか新しい企画にチャレンジした1年でした。フットサル大会は、各工業団地の盛り上がりから着想し、部会企業24社に参加いただき、勝ち抜き戦を実施。日本人、ベトナム人合わせて500名以上が集まり、まさに日越外交関係樹立50周年にふさわしい活動になりました。

また、ロッテベトナム様のご協力のもと、数年ぶりとなる工場見学会を実施しました。例年通り、ビンズン税関局やビンズン省人民委員会との意見交換会も開催し、部会企業の交流及び問題解決に役立てたかな、と感じています。次年度も部会企業の企業活動を後押しできるよう、取り組んでいきます。

▲フットサル大会(8月20日)

▲工場見学会(10月13日)

ドンナイ部会

会員企業同士の交流と情報共有機会の提供をテーマに積極的に活動

部会長
古川 裕二
(YKKベトナム)

2023年度ドンナイ部会は4回の定例部会を実施しました。前半では会員企業の方々からの各種意見の収集などを目的としてオンラインと懇親会のハイブリッドでの開催、後半はリアル開催を行い、多くの会員企業に参加して頂きました。オンラインではZoom機能の活用や掲示板設置、講演会では前半で特に影響の大きかったOn the Spot(みなし通関制度)の廃止等のセミナーを実施し、会員企業に役立つような情報発信に努めると共に、22年度からの継続として、会員企業や関連企業による企業・商品紹介の場を設けて、企業活動の側面支援を行いました。

また、政府当局との対話でも会員企業の要望を伝え、よりよい事業環境の確保に努めると共に、懇親会やゴルフコンペを通じて会員同士のコミュニケーションの促進を図りました。

▲ドンナイ省人民委員会主催の「日越外交関係樹立50周年記念式典」(9月12日)

▲第3回ドンナイ部会及び忘年会(12月12日)

ロンアン部会

ロンアン省行政との密な協働・連携を通じ、本質的な日越交流を深化させる

部会長
安井 悦也
（ビナエコボード）

2023年度も、当部会は地域部会として、ロンアン省行政機関との関係性の強化、部会員間におけるコミュニケーションの深化、情報共有体制の推進を図ることに主眼を置き、活動を進めて参りました。

特に本年は「日越外交関係樹立50周年」の節目の年となり、ロンアン省主催の集会や記念イベントなど多くの公式行事が開催された他、当部会行事の懇親会への党幹部の招待、行政幹部との親睦ゴルフコンペ開催など、例年よりもさらに親密な交流により、行政との関係を着実に強化できたと思います。

ロンアン省は行政との距離感が近く、「顔が見える」信頼関係に基づき、部会員企業が益々の発展を遂げていくことで、引き続き「More for Vietnam」に貢献していければと思います。

▲ロンアン省と部会員との懇親ゴルフコンペ（7月28日）

▲部会夏祭りでのロンアン省幹部と部会員との集合写真（8月30日）

バリアブンタウ部会

少人数ならではの親睦と地域密着を大切にした部会

部会長
青山 芳朗
（双日大阪ガスエネルギー）

会員数が少ないがゆえに、和気あいあいとした雰囲気で気軽に情報交換ができる部会を目指して活動しました。省政府とのラウンドテーブルは総領事館やJCCH会頭・副会頭の皆さんにご支援いただき、2回の開催が実現し、商工会議所として会員企業サポートの充実が図れました。

恒例行事となっている地元地域施設訪問会では操業開始間もない国内初のLNG輸入ターミナルを視察し、普段は見ることのできないコントロールルームなどを見学しました。ロンアン部会との懇親ゴルフは継続的な横繋がりの強化に貢献しています。また、新たな試みとして、韓国商工会議所（KOCHAM）バリアブンタウ部会との会合と懇親会を開始しました。情報交換や対省政府活動に役立てていきたいと思います。

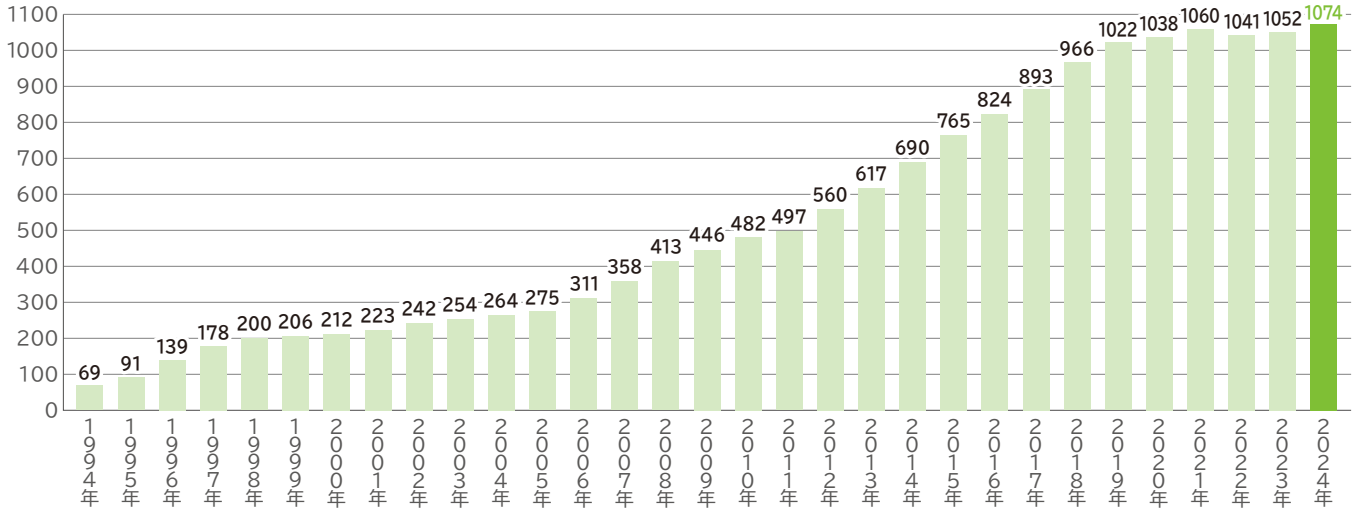
▲LNG輸入ターミナル訪問（8月25日）

▲第2回部会（8月25日）

データでみるＪＣＣＨ活動

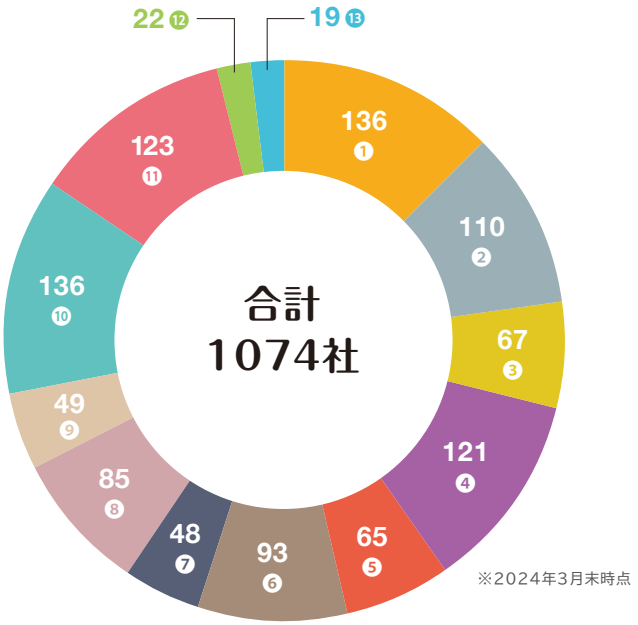
JCCHの会員数は現在1，074社（2024年3月末現在）で、これはベトナムにある3つの日本商工会議所の中で最多です。
3つの商工会議所の合計会員数は2，049社で、上海日本商工クラブの2，235社、バンコク日本人商工会議所の1，640社と肩を並べる大きな存在となります。
2023年は日越外交関係樹立50周年の記念すべき年となり、多種多様な記念事業が開催されました。JCCHも会員企業の皆様のご協力を得て多くのイベントを開催でき、ベトナム社会に貢献できたと自負しております。
今後もJCCHの存在感はさらに増していくでしょう。

会員企業数推移



※2024年3月末時点

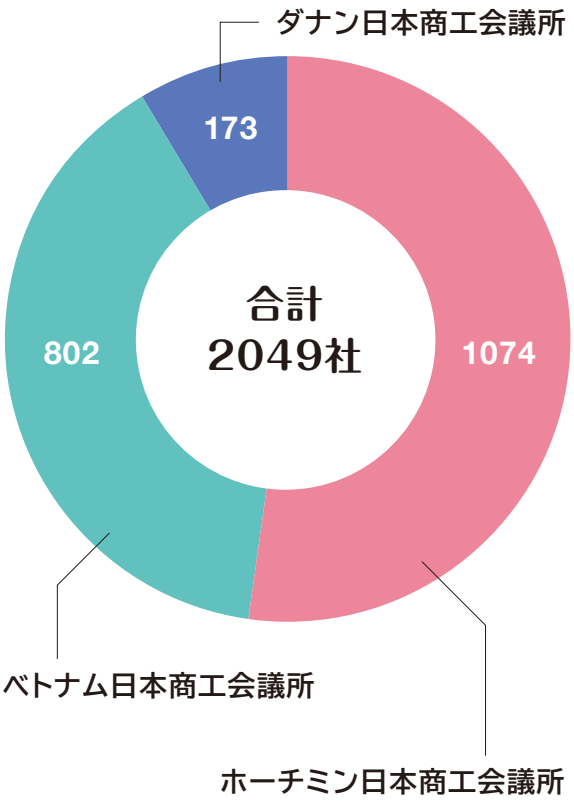
部会構成



※2024年3月末時点

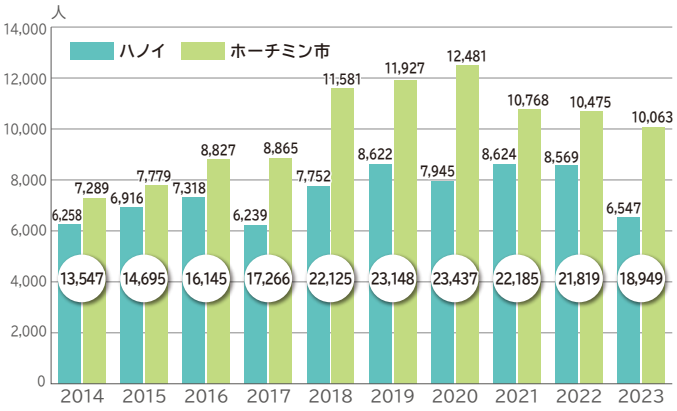
① 貿易部会 …… 12.7%
② 建設部会 …… 10.2%
③ 運輸部会 …… 6.2%
④ 第一サービス部会…11.3%
⑤ 第二サービス部会 …6.0%
⑥ IT部会 …… 8.7%
⑦ 金融・保険部会……4.5%
⑧ ホーチミン市部会 …… 7.9%
⑨ タントアン・リンチュン部会 .. 4.5%
⑩ ビンズン部会 …… 12.7%
⑪ ドンナイ部会 …… 11.5%
⑫ ロンアン部会 …… 2.0%
⑬ バリアブンタウ部会 …… 1.8%

在ベトナム日本商工会議所の会員数



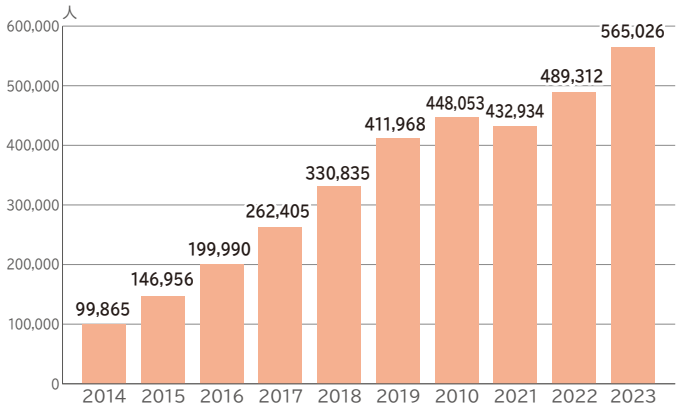
※2024年3月末時点

ベトナム在留邦人数の推移



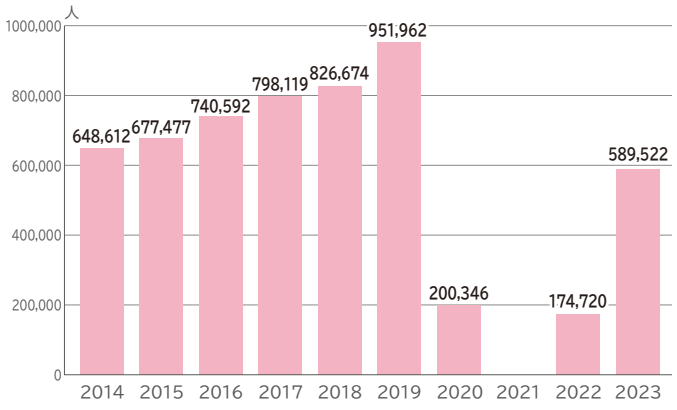
出典：日本国外務省海外在留邦人統計

日本在留ベトナム人数の推移



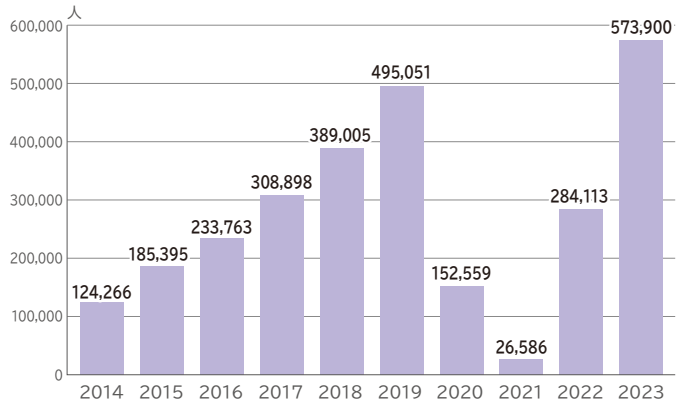
出典：日本国法務省出入国在留管理庁

訪越日本人数の推移



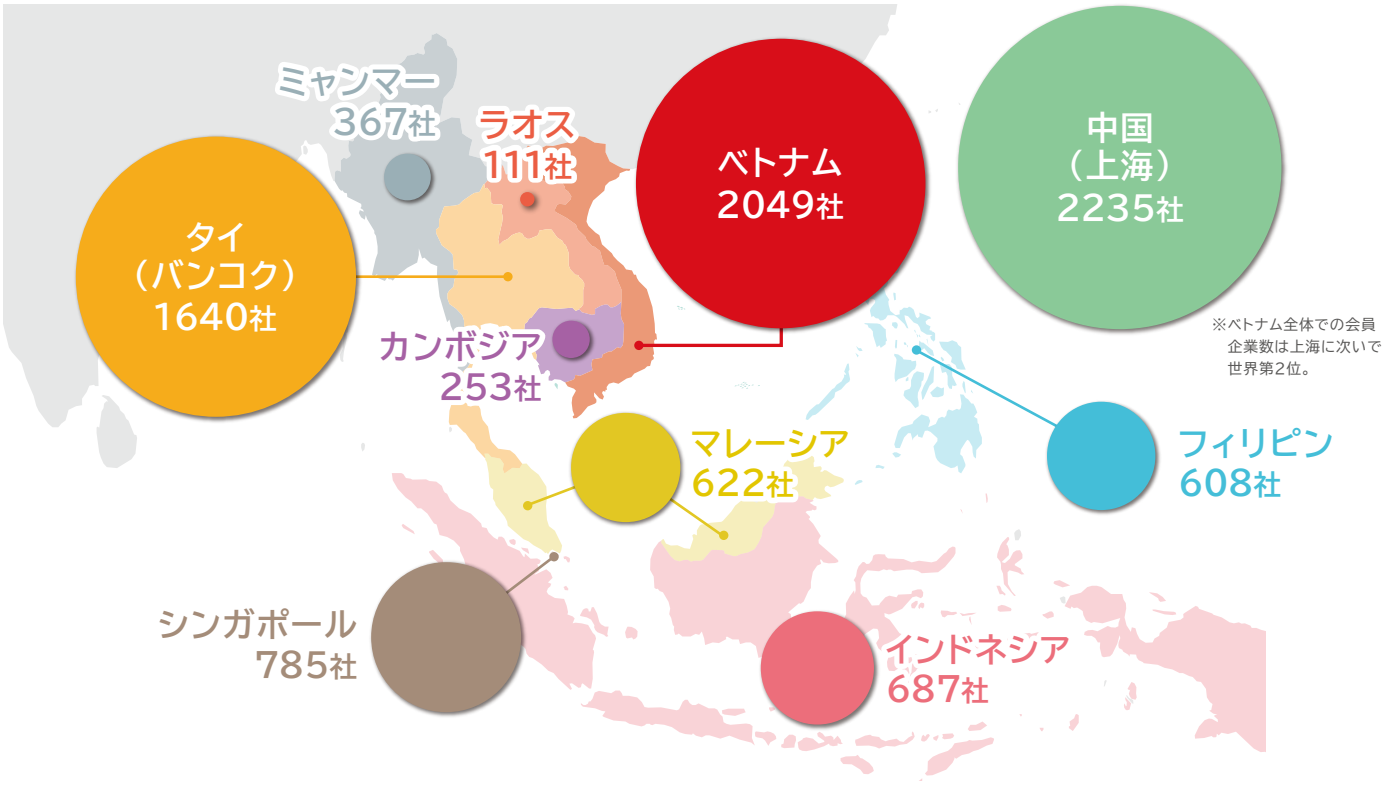
出典：ベトナム国家観光局　※2021年はデータなし

訪日ベトナム人数の推移



出典：日本政府観光局

近隣諸国にある日本商工会議所の会員数



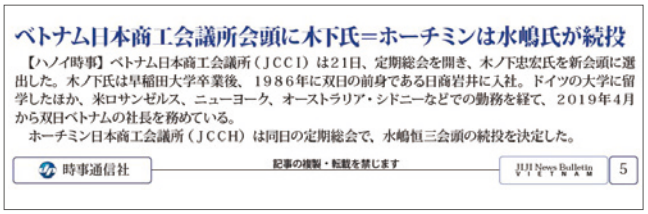
※ベトナム全体での会員企業数は上海に次いで世界第2位。

※2024年3月末時点
※日本商工会議所に相当する組織は国によって名称が異なります。各組織のウェブサイトなどで公表されている最新の数値を参照しました。

JCCHニュースフラッシュ

今年度もJCCHの活動を各種外部メディアで掲載いただきました。
その一部をご紹介いたします。

1 時事通信



ベトナム日本商工会議所会頭に木下氏＝ホーチミンは水嶋氏が続投

【ハノイ時事】ベトナム日本商工会議所（JCCI）は21日、定期総会を開き、木ノ下忠宏氏を新会頭に選出した。木ノ下氏は早稲田大学卒業後、1986年に双日の前身である日商岩井に入社。ドイツの大学に留学したほか、米ロサンゼルス、ニューヨーク、オーストラリア・シドニーなどでの勤務を経て、2019年4月から双日ベトナムの社長を務めている。

ホーチミン日本商工会議所（JCCH）は同日の定期総会で、水嶋恒三会頭の続投を決定した。

時事通信社　記事の複製・転載を禁じます　JJI News Bulletin VIETNAM　5

▲ 2023年4月24日(月)付
2023年度水嶋恒三会頭の続投について報道いただきました。

2 週刊 Vetter

“LOCAL HOT NEWS” VETTER

JCCH·社会貢献委員会
「掃除プロジェクト」が始動

8月26日(土)8:30~10:30、サイゴン動植物園内にて大規模な清掃活動が実施された。

「JCCH(ホーチミン日本商工会議所)の社会貢献委員会主導で、日越外交関係樹立50周年記念企画の一環として行われたものである。日本文化である「おそうじ」を通じ、日越の交流を深化させ、ベトナムへの社会貢献を推進する目的で実施されている。今回はベトナム人、日本人合計で132人(内子ども11人)が参加。プロジェクト参加者は猛暑の中、ひたむきにゴミを拾い集め、想定以上のゴミが集まった。

「動物園の外でもゴミを見ると拾いたくなる」「来園者の近くのゴミを拾ったら、ベトナム人の方が会釈してくれた」など掃除を通じた意識の変化や交流が見られた。

社会貢献委員会は50周年を機に「積み上げ」というテーマを掲げ、活動を継続していく。この清掃プロジェクトは今後、日本人学校、タオダン公園、バリアブンタウ海岸などで予定されている。

▲ 2023年9月13日(水)
「JCCH社会貢献委員会日越外交樹立50周年記念清掃プロジェクト」の様子を掲載いただきました。

「JCCH 懇親 ゴルフ大会2023」開催

226名が集結！

▲ 2023年12月15日(水)付
「JCCH 懇親ゴルフ大会2023」開催の様子を掲載いただきました。

3 ベトナムスケッチ

2023.07 SKETCH BUSINESS

日本商工会議所レポート

会員企業の事業活動を支援すべく、各種イベントを企画しています。最新情報は各ウェブサイトとJCCHのFacebookで発信中。

JCCIベトナム日本商工会議所 https://jcci.vn
JCCHホーチミン市日本商工会議所 @JCCH.ORG https://jcchvn.org

JCCH 2023年6月16日(金)
消防検査の問題を受けて
消防法に関するセミナーを開催

JCCHでは「消防検査証明の取得及び保管ラック付き倉庫の消防設備基準に関するセミナー」をハイブリッド形式で開催し、350人以上の申し込みがあった。2020年に火災安全に関する国家基準QCVN06/2020BXDや政令136/2020/ND-CP号が施行され、各市省が発行する「消防検査証明書」取得が困難となっており、また保管ラック付き倉庫の消防基準に関する申し立てがJCCHに多く寄せられた。問題と対処法について、JCCH建設部会長の今村年秀氏(ダイワハウスベトナム)およびDDC副社長の宮本英輔氏が登壇した。

JCCH 2023年6月23日(金)
ベトナム新規赴任者向けに
交流会を開催

JCCH企業交流委員会は、「ベトナム新規赴任者向け交流会」を開催した。

本交流会はコロナ以前から開催している人気のイベントで、「初の海外赴任のため人脈を作りたい」、「社外でも交流できる方を探したい」といった会員企業の新規赴任者が多数参加している。

今回は2023年1月以降にベトナムに赴任した人を参加対象としたところ、当初の想定を超える80人以上から参加申し込みを得た。当日は「JCCHの活動紹介」や「名刺交換会」等を実施し、参加者は活発な交流を行った。

▲ 2023年7月号
「消防検査証明の取得及び保管ラック付き倉庫の消防設備基準に関するセミナー」、「ベトナム新規赴任者向け交流会」を掲載いただきました。

2023.09 SKETCH BUSINESS

日本商工会議所レポート

会員企業の事業活動を支援すべく、各種イベントを企画しています。最新情報は各ウェブサイトとJCCHのFacebookで発信中。

JCCIベトナム日本商工会議所 https://jcci.vn
JCCHホーチミン市日本商工会議所 @JCCH.ORG https://jcchvn.org

JCCH 2023年7月19日(水)
新規入会企業とJCCH役員との
交流会を開催

企業交流委員会はホーチミン市1区のパレスホテルにて、2023年度1回目となる「新規入会企業とJCCH役員及び理事との交流会」を開催し、2023年3~6月度に新規入会した企業から11社14名が参加した。

本交流会は理事および新入会員の懇親を深め、新入会員によるJCCH活動への積極的な参加を推し進めるために企画された。

今回は自社PRの時間が設けられ、新規入会企業の会員たちが自社の商品やサービスを紹介。また、参加者たちは至る所で名刺交換を行い、活発な交流が行われた。

JCCH 2023年7月24日(月)
世界と日本における
電子インボイスのセミナー開催

JCCH税務・通関委員会主催のセミナー「e-invoiceをめぐる世界のトレンドと日本の状況」がホーチミン市1区ロイヤルホテルサイゴンで開催され、52人以上が参加した。

当日は日本デジタル庁企画官の加藤博之氏が登壇し、「e-invoice（電子インボイス）」をキーワードに、ベトナムや日本の取り組みを取り上げつつ、グローバル化の中で、請求を中心としたバックオフィス業務が近い将来どのように変わっていくのかを分かりやすく解説。参加者からは「電子インボイス制度の目的が理解できた」「各国の事情・背景が学べた」などの感想が寄せられた。

▲ 2023年9月号
「新規入会企業と JCCH 役員との交流会」、JCCH 税務・通関委員会主催の「e-invoice をめぐる世界のトレンドと日本の状況」セミナーの開催について掲載いただきました。

2023.12 SKETCH BUSINESS

日本商工会議所レポート

会員企業の事業活動を支援すべく、各種イベントを企画しています。最新情報は各ウェブサイトとJCCHのFacebookで発信中。

JCCIベトナム日本商工会議所 https://jcci.vn
JCCHホーチミン市日本商工会議所 @JCCH.ORG https://jcchvn.org

JCCH 2023年10月10日(火)
ベトナム経済に関するセミナー開催
参加者より大好評

JCCH主催セミナー「データでみるベトナム経済~ベトナムって本当に不況なの?~」をロイヤルホテルサイゴンで開催し、約350人が参加した。

ベトナムが不況と言われる中、企業の経営者・管理者の実感と統計調査等で公表される数字とにはギャップがあり、本社への説明に苦慮する人は多い。金融・経済情報サービス会社「クイック」の川井千春氏が登壇し、ベトナムの上場企業や金融機関の財務情報などからひも解いたりアルな景況感について解説した。会員企業からの関心は高く、定期的な開催を望む声が多数寄せられた。

JCCH 2023年10月15日(日)
日越50周年記念大運動会を開催
参加者は3000人超に

JCCH大運動会がホーチミン市日本人学校で開催された。2回目となる今回は50周年記念事業として規模を拡大し、競技参加者、応援者を合わせて96社、約3000人が来場した。

企業対抗運動会、フットサル大会、バドミントン大会の他、テニス大会・卓球大会を新たに実施。当日は天候に恵まれ、日本人、ベトナム人双方の参加者が楽しみながらスポーツ交流を行った。

3~8歳の子どもを対象に玉入れとかけっこも実施し、約200人が参加した。参加賞のオリジナルメダルを子どもたちは笑顔で受け取った。

▲ 2023年12月号
「データでみるベトナム経済　~ベトナムって本当に不況なの?~」セミナー、「JCCH 大運動会」について掲載いただきました。

4 ACCESS

▲ ライビエン社が発行する「月刊 ACCESS」2024年4月号に2024年3月9日に開催されたジャパンベトナムフェスティバル（JVF）「日越友好平和ぼんおどり大会」を掲載いただきました。

5 ビンズンテレビ局（BTV）

▲ 2023年10月20日(金)付
2023年10月20日に開催された「ビンズン省人民委員会と日系企業との対話集会」について報道いただきました。

6 ホーチミンテレビ（HTV）

▲ 2023年12月14日(木)付
2023年12月14日に開催された「ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル」について報道いただきました。

7 ベトナム有力新聞 トゥオイチェー（Tuoi Tre）

◀ 2023年10月7日(土)付
日越外交関係樹立50周年記念事業「Eスポーツ大会」の様子を掲載いただきました。

8 ティエンフォン新聞 (Tien Phong)

◀ 2023年9月30日(土)付
日越友好ソング「Tomodachi - Tình bạn」みんなで歌おうプロジェクトの参加者募集について掲載いただきました。

事務局主要活動実績表

2023年4月

5日(水)	日越外交関係樹立50周年実行委員会事務局定例会議	WEB開催
	組織・規約委員会	JCCH
6日(木)	労働許可証、出入国の手続きに関する対話集会	グランドホテルサイゴン
8日(土)	サイゴンセンタージャパンフェスティバルレセプション	同施設
11日(火)	日本人学校入学式	同校
	アセアンジャパンビジネス促進プラットフォーム会合	WEB開催
12日(水)	日越外交関係樹立50周年実行委員会会合	大使館+WEB開催
	日越共同イニシアティブ担当委員会定例会	JCCI+WEB開催
13日(木)	部会運営ガイダンス	WEB開催
14日(金)	部会運営ガイダンス	WEB開催
	トゥードゥックビジネス協会(TBA)総会	タコ サラ ショールーム
17日(月)	2022年度・2023年度合同執行役員会	JCCH
21日(金)	第30回定例総会	ニューワールドサイゴンホテル
	第1回理事会	ニューワールドサイゴンホテル
25日(火)	ホーチミン市ビジネス協会(HUBA)会長、副会長表敬来訪	JCCH

2023年5月

6日(土)	タインホア省経済セミナー・夕食懇談会	同省
9日(火)	日越外交関係樹立50周年実行委員会事務局会合	WEB開催
10日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	組織・規約委員会	JCCH
11日(木)	ドンタップ省人民委員会との会合	総領事館
15日(月)	執行役員会	JCCH
16日(火)	運輸部会	えびす+WEB開催
	社会貢献委員会	サッポロベトナム+一笑一升
17日(水)	ソクチャン省人民委員会表敬訪問	同委員会庁舎
	日越共同イニシアティブ担当委員会定例会	ハイブリッド
	第一・第二サービス合同部会	ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
18日(木)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
19日(金)	カントー市外務局来訪	JCCH
	企業交流委員会	JCCH+景福宮
22日(月)	ドンナイ省税関局とのミーティング	同局庁舎
	スポーツ・文化委員会	サスケ
24日(水)	ビンズン省税関局との意見交換会	同局庁舎
	事業環境委員会	WEB開催
	ホーチミン市部会	WEB開催+INDIGO
25日(木)	タントアン・リンチュン部会	TTCホテル会議室
	貿易部会	ベトナム住友商事+桜々
	建設部会	サイゴンホテル
26日(金)	広報委員会	JCCH+時津洋
	バリアブンタウ部会	CJビルディング+ユキレストラン
	ビンズン部会	十五夜迎賓館
29日(月)	VJCC経営塾開講式	VJCC
30日(火)	労務委員会	JCCH
	IT部会	コアイレストラン
31日(水)	ドンナイ省ビジネスマッチングキックオフミーティング	WEB開催

2023年6月

6日(火)	ロンアン省人民委員会ウット委員長表敬訪問	同委員会庁舎
7日(水)	日越外交関係樹立50周年実行委員会事務局定例会合	JCCH
	JCCH日越50周年事業特別委員会	JCCH
8日(木)	ホーチミン市人民委員会ホアン副委員長表敬訪問	同委員会庁舎
	バリアブンタウ省人民委員会トー委員長表敬訪問	同委員会庁舎
9日(金)	ドンナイ省人民委員会ユン委員長表敬訪問	同委員会庁舎
	組織・規約委員会	JCCH
	ビンズン省人民委員会ミン委員長表敬訪問	同委員会庁舎
11日(日)	日本人学校ホーチミン祭	同校
12日(月)	執行役員会	JCCH
	生活環境委員会	アマ―キッチン
14日(水)	ラウンドテーブルキックオフミーティング	ITPC
	日越共同イニシアティブ担当委員会定例会	WEB開催
	事業環境委員会	サスケ
15日(木)	ラウンドテーブルフィードバックセミナー	パレスホテル+WEB開催
	理事会	パレスホテル
16日(金)	税務・通関委員会主催「消防検査証明の取得及び保管ラック付き倉庫の消防設備基準に関するセミナー」	ロイヤルホテルサイゴン
17日(土)	カントー市2023年日越文化・経済交流フェスティバル	同市
19日(月)	ロンアン部会	JCCH+鈴の屋
20日(火)	社会貢献委員会	アルソック+桜々
21日(水)	金融・保険部会	やまちゃん
23日(金)	ドンナイ省税関局とFDI企業との会合	同局庁舎
	ベトナム新規赴任者向け交流会	ホテルニッコーサイゴン
25日(日)	ホーチミン市部会懇親ゴルフコンペ	ソンベゴルフ場
27日(火)	ドンナイ部会	WEB開催+スティックス
	広報委員会	JCCH
28日(水)	VJCCとのMOU締結式	VJCC
30日(金)	イオンモール・ジャパンフェアセレモニー	イオンモールビンタン

2023年7月

4日(火)	台湾商工会議所とのOn the spot取引に関する打ち合わせ	JCCH
6日(木)	相鉄グランドフレッササイゴン開業式	同社
	労務委員会	JCCH
	小野総領事と正副会頭との外食懇談会	総領事公邸
7日(金)	イオン植樹祭	イオンビンズンニューシティー
7~8日(金~土)	MEET JAPAN in ビンディン省	同省
11日(火)	生活環境委員会	JCCH
12日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
13日(木)	第二サービス部会・懇親会	スティックス
14日(金)	フランス商工会議所(CCIFV)革命の日イベント	マイ ハウス サイゴン ホテル
	バリアブンタウ省友好協会来訪	JCCH
17日(月)	執行役員会	JCCH
18日(火)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
19日(水)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
	新規入会企業とJCCH役員及び理事との交流会	パレスホテル
20日(木)	事業環境委員会	JCCH
21日(金)	第一・金融・IT部会合同部会・懇親会	ニューワールドサイゴンホテル
24日(月)	税務・通関委員会主催セミナー「e-invoiceをめぐる世界のトレンドと日本の状況」	ロイヤルホテルサイゴン
25日(火)	ロンアン省マスタープラン発表及び投資促進会合	同省
	運輸部会	インディゴ・ジャパニーズ・レストラン
	広報委員会	JCCH
26日(水)	ビンズンニューシティーショッピングセンター開業式	ビンズン省
	タントアン・リンチュン部会	TTCホテル会議室
	事業環境委員会	WEB開催
	ホーチミン市部会	WEB開催+和伊の介
27日(木)	貿易部会	ベトナム住友商事+桜々
	建設部会	サイゴンホテル
28日(金)	ロンアン省日越外交関係樹立50周年イベント・日系企業との投資会合	同省
	ビンズン部会	VSIP1会議室
29日(土)	ロンアン省人民委員会幹部との懇親ゴルフコンペ	ウエストレイクゴルフ

2023年8月

2日(水)	ASEAN事務総長とアセアン日本商工会議所連合会(FJCCIA)との対話会合	ジャカルタ
5日(土)	アジア域内日本人会事務局長会議	バンコク
9日(水)	ベトナム税関総局(GDC)とJCCH会員企業との対話集会	ロイヤルホテルサイゴン
	カントー市投資促進センター来訪	JCCH
20日(日)	ビンズン部会フットサル大会	ビンズン省
	公明党山口代表との懇親会	ホテルニッコーサイゴン
22日(火)	JCCH日越50周年事業特別委員会	JCCH+WEB開催
23日(水)	スポーツ・文化委員会	サスケ
	高知県視察団へのレクチャー	ロイヤルホテルサイゴン
25日(金)	バリアブンタウ部会	同省
26日(土)	社会貢献委員会サイゴン動植物園清掃活動	サイゴン動植物園
28日(月)	事業環境委員会主催セミナー「2020年環境保護法改正以降の環境政策動向について～」	パレスホテル
29日(火)	ティエンザン省投資セミナー	ロイヤルホテルサイゴン
30日(水)	広報委員会	JCCH
	ロンアン部会夏祭り	サッポロベトナム
31日(木)	大阪信用金庫ミッション団へのレクチャー	グランドホテルサイゴン
	ホーチミン市人民委員会主催　ベトナム建国記念日第78周年記念祝いレセプション	同委員会庁舎

2023年9月

5日(火)	ストリートチルドレン友の会 教科書授与式	ビンチュウセンター
6日(水)	日越外交関係樹立50周年実行委員会会合	WEB開催
	組織・規約委員会	JCCH
7日(木)	労務委員会	JCCH
8日(金)	カインホア省計画投資局来訪	JCCH
	ビンズン省 MEET JAPAN 2023	同省
12日(火)	ドンナイ省日越外交関係樹立50周年イベント	同省
	Tomodachiプロジェクト記者発表	ホーチミン市プレスセンター
13日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
14日(木)	VJCC経営塾第17期閉講式	VJCC
14~15日(木~金)	ホーチミン市の経済フォーラム2023	統一会堂
16日(土)	社会貢献委員会日本人学校周辺清掃活動	同校
18日(月)	執行役員会	JCCH
19日(火)	IT部会情報交換会	ル カフェ デ スタジエール
	社会貢献委員会	サッポロベトナム
20日(水)	ホーチミン市日越外交関係樹立50周年記念式典	ホーチミンオペラハウス
	ドンナイ部会	JCCH
	秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御訪越に伴う大使茶会	大使公邸
21日(木)	ベトナム各国友好組織連合会・越日友好協会・ 日本大使館共催日越外交関係樹立50周年記念レセプション	ハノイ国際会議場
22日(金)	オペラ「アニオー姫」ハノイ公演記念レセプション	ハノイオペラハウス
25日(月)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
26日(火)	日越共同イニシアティブ委員会	WEB開催
	ロンアン部会	JCCH
	広報委員会	WEB開催
	スポーツ・文化委員会	サスケ
27日(水)	タントアン・リンチュン部会	TTCホテル会議室
	ホーチミン市部会	WEB開催+炉端あん
	金融・保険部会	和伊の介
28日(木)	貿易部会	ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン+桜々
	建設・運輸合同部会	メトロポール
	IT部会	スティックス
	第一・第二サービス合同部会・懇親会	サイゴンプリンスホテル
29日(金)	社会貢献委員会にほんご交流会	越日工業大学
	第1回バリアブンタウ省人民委員会とのラウンドテーブル	同省
30日(土)	貿易部会ゴルフコンペ	ベトナムゴルフカントリークラブ
	韓国商工会(KOCHAM)との懇親ゴルフ	ドンナイ省
	HUTECH大学入学式	同校
	バリアブンタウ省越日文化交流祭り	同省

2023年10月

1日(日)	日本人学校運動会	同校
4日(水)	ホーチミン市労働局主催「政令70/2023/ND-CP号に関するセミナー」	同局庁舎
	日越外交関係樹立50周年実行委員会定例会	WEB開催
	労務委員会主催「ベトナム労働法セミナー(基礎編)」	パレスホテル+WEB開催
6日(金)	ふらっとJCCH	ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
	カインホア省人民委員会主催「ベトナム・日本文化交流フェスティバル」	ニャチャン市
7日(土)	Eスポーツ大会	グエン・ズースタジアム
	カインホア省投資カンファレンス	ニャチャン市
8日(日)	ロンアン部会とバリアブンタウ部会との懇親ゴルフ	ベトナムゴルフカントリークラブ
9日(月)	りそな総研ベトナム研修団へのレクチャー	JCCH
10日(火)	税務・通関委員会主催「データでみるベトナム経済 ～ベトナムって本当に不況なの？～」セミナー	ロイヤルホテルサイゴン
	台湾国慶節レセプション	ホテルニッコーサイゴン
11日(水)	甲府商工会議所へのレクチャー	JCCH
	日本化学工業協会との面談	JCCH
	日越外交関係樹立50周年記念やまなし観光物産プロモーション	総領事公邸
12日(木)	ホーチミン市労働局主催対話集会	グランドホテルサイゴン
	ホーチミン市ビジネス協会(HUBA)ビジネスマンデー19周年記念式典	レックスホテル
13日(金)	ビンズン部会	ロッテベトナム
14日(土)	大運動会リハーサル	日本人学校
15日(日)	日越50周年記念JCCH大運動会	日本人学校
16日(月)	執行役員会	JCCH
17日(火)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
18日(水)	日越共同イニシアティブ担当委員会定例会	JCCI+WEB開催
	税務・通関委員会主催 第1回税制セミナー	WEB開催
	スポーツ・文化委員会	サンワーパール
19日(木)	理事会	パレスホテル
20日(金)	ビンズン省人民委員会と日系企業との対話集会	同省
	プレラウンドテーブル(生活環境)	ITPC
	ロンドウック工業団地10周年記念式典	ザ ミラ セントラル パーク ホテル
22日(日)	第一サービス、第二サービス、IT、金融・保険4部合同ゴルフ懇親会	タンソンニャットゴルフ
	ホーチミン市部会懇親ゴルフコンペ	ソンベゴルフ場
23日(月)	プレラウンドテーブル(税務・通関)	ITPC
24日(火)	MEET KANSAI 2023 inハノイ	ハノイ
	社会保険庁在ベトナム日系企業との対話会	ハノイ
27日(金)	プレラウンドテーブル(法務・労務)	ITPC
28日(土)	社会貢献委員会タオダン公園清掃活動	タオダン公園
30日(月)	公安省との夕食会	ニューワールドサイゴンホテル

2023年11月

2~4日(木~土)	JCCH海外視察団	インドネシア
3日(金)	ドンナイ省税関局主催「WEB開催FDI企業との意見交換会」	WEB開催
	アルフレッサヘルスケアベトナム 10周年イベント	マイハウスサイゴン
	池田泉州銀行 5周年セレモニー	ロッテホテルサイゴン
8日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	組織・規約委員会	JCCH
	国際協力銀行(JBIC)総裁との夕食会	春夏冬
9日(木)	ドンナイ省ビジネスマッチング会	同省
12日(日)	ロンアン省人民委員会幹部との懇親ゴルフコンペ	ウエストレイクゴルフ
13日(月)	執行役員会	JCCH
14日(火)	ドンタップ省とビンズン省人民委員会委員長との面会	ビンズン省委員会庁舎
15日(水)	日越共同イニシアティブ委員会	WEB開催
16日(木)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
	フランス商工会議所(CCIFV)交流イベント	フランス総領事公邸
	ドンタップ省副委員長来訪	JCCH
18日(土)	IT部会フットサル大会	チャオルアフットサルスタジアム
21日(火)	税務・通関委員会主催 第2回税制セミナー	WEB開催
	企業交流委員会・社会貢献委員会合同懇親会	サッポロベトナム
22日(水)	タントアン・リンチュン部会	TTCホテル会議室
	IT部会	スティックス
	スポーツ・文化委員会	WEB開催
23日(木)	第一サービス・貿易合同部会	オーシャンパレス
	建設部会	サイゴンホテル
24日(金)	バリアブンタウ部会	JCCH
25日(土)	中高生日本語スピーチコンテスト	レホンフォン高校
26日(日)	ビンズン部会ゴルフコンペ	ソンベゴルフ場
28日(火)	Explore Sake 2023	総領事公邸
	広報委員会	JCCH
29日(水)	ドンタップ省投資セミナー	レックスホテル
30日(木)	日越共同イニシアティブ次期フェーズ説明会	WEB開催

2023年12月

1日(金)	IT部会 賃金調査・労働環境アンケート公表会	酒らく
2日(土)	FJCCIA事務局長会議	WEB開催
3日(日)	JCCH懇親ゴルフ2023	タンソンニャットゴルフ
4日(月)	日越外交関係樹立50周年実行委員会会合	ハイブリッド
6日(水)	日越外交関係樹立50周年実行委員会事務局会議	WEB開催
7日(木)	組織・規約委員会	JCCH
	労務委員会	JCCH＋WEB開催
8日(金)	ビンズン部会忘年会	ベカメックスホテル
9日(土)	古河オートモーティブパーツ第3工場竣工式	ホテルニッコーサイゴン
12日(火)	日越共同イニシアティブ委員会	WEB開催
	ドンナイ部会忘年会	イースティン グランドホテル サイゴン
	ホーチミン市・第二サービス・運輸3部合同部会	メトロポール
	Tomodachiプロジェクト出発式	ホーチミンオペラハウス
14日(木)	ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(本番)	レックスホテル
16日(土)	社会貢献員会2千ドン食堂支援	スマイル食堂4号店
17日(日)	社会貢献委員会バリアブンタウ海岸清掃	バリアブンタウ省
18日(月)	執行役員会	JCCH
19日(火)	税務・通関委員会主催　第3回税制セミナー	WEB開催
	社会貢献委員会	サッポロベトナム
20日(水)	タインホア省と日系企業との会合	パレスホテル
	国土交通省上原審議官との昼食会	マンダリン
	社会貢献委員会児童福祉施設訪問	ロンホア施設
	生活環境委員会主催「生活情報セミナー」	ホテルニッコーサイゴン＋WEB開催
	タントアン・リンチュン部会忘年会	エムガーデン
21日(木)	理事会	パレスホテル
22日(金)	日越共同イニシアティブプレキックオフ会合	ハノイ
	ロンアン部会	JCCH
	日越外交関係樹立50周年フィナーレレセプション・JCCI第9コンサート	ハノイ
24日(日)	社会貢献委員会児童福祉施設訪問	ビンチュンドンセンター
	IT部会懇親ゴルフコンペ	ロン タン ゴルフクラブ
26日(火)	マイ人民委員長との夕食会	総領事公邸

2024年1月

9日(火)	JCCH日越50周年事業特別委員会	JCCH+WEB開催
10日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
11日(木)	JCCH新年会	ホテルニッコーサイゴン
12日(金)	ベカメックス東急住宅着工式典	ビンズン新都市
13日(土)	社会貢献委員会レ・ティ・リエン公園清掃活動	レ・ティ・リエン公園
16日(火)	カンボジア政府ミッション団との意見交換会	JCCH
	税務・通関委員会主催　第4回税制セミナー	WEB開催
	社会貢献委員会	サッポロベトナム
17日(水)	堺市環境局長との意見交換	JCCH
	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI+WEB開催
18日(木)	建設部会	メトロポール
	スターツインターナショナルベトナム10周年記念開業式典	ルメリディアンサイゴン
19日(金)	大使館主催令和5年度賀詞交歓会	大使館
	新規赴任者交流会	ヴィエットヴィレッジレストラン
20日(土)	社会貢献委員会児童福祉施設訪問	ホアホン施設
	エースコックハピネスコンサート	ホーチミン市音楽院
22日(月)	執行委員会	JCCH
23日(火)	組織・規約委員会	JCCH
	ビンズン省外交団夕食会	ビンズン省
24日(水)	タントアン・リンチュン部会	TTCホテル会議室
	ホーチミン市部会	相鉄グランドフレッサ サイゴン
	貿易・運輸合同部会・懇親会	ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
25日(木)	部会長会	JCCH
	理事会	パレスホテル
	社会貢献委員会留学生支援セミナー	WEB開催
29日(月)	第一サービス部会	WEB開催
	日本政策金融公庫開所式	ホテルニッコーサイゴン
30日(火)	山田大使との懇談会	総領事館
31日(水)	金融・保険部会現地見学会	ホーチミン証券取引所、ホーチミン市博物館
	ホーチミン市人民委員会主催新年会	同委員会庁舎

2024年2月

1日(木)	ホーチミンメトロ試乗会	スオイティエン駅
	広報委員会	JCCH
	IT部会	サイゴンホテル
2日(金)	タントアン・リンチュン部会ITセミナー	WEB開催
3日(土)	土屋復興大臣との夕食懇談会	ホテルニッコーサイゴン
7日(水)	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI+WEB開催
19日(月)	大分銀行ミッション団へのレクチャー	JCCH
	労務委員会	JCCH
20日(火)	税務・通関委員会主催　第5回税制セミナー	WEB開催
	社会貢献委員会	インターコンチネンタルサイゴン
21日(水)	島根県庁のしまね産業振興財団との商談	JCCH
	日本人学校運営委員会	JCCH
23日(金)	バリアブンタウ部会	ユキレストラン
24日(土)	社会貢献委員会歯磨き指導	ホアホン施設
26日(月)	執行役員会	JCCH
27日(火)	近畿経済産業局との打ち合わせ	JCCH
28日(水)	静岡国際貿易経済協議会視察団へのレクチャー	JCCH
	ホーチミン市ラウンドテーブルフィードバック＆第2回労務セミナー	WEB開催
	在ダナン日本国総領事館主催天皇誕生日レセプション	ダナン三日月
29日(木)	ホーチミン市日越友好協会主催「天皇誕生日祝賀会」	ホテルマジェスティックサイゴン
	理事会	パレスホテル
	在ホーチミン日本国総領事館主催天皇誕生日レセプション	ニューワールドサイゴンホテル

2024年3月

2日(土)	FJCCIA事務局長会議	マレーシア
3日(日)	貿易部会ゴルフコンペ	ベトナムゴルフカントリークラブ
5日(火)	広報委員会	JCCH
	シキボウ株式会社ベトナム現地法人開業式	ホテルニッコーサイゴン
6日(水)	外国人労働者の採用・管理に関する法規制の施行に関する対話集会	ホーチミン市労働局庁舎
7日(木)	社会貢献委ニャットホン視覚障がいセンター支援	同施設
	日本の祭典2024レセプション	レックスホテル
8日(金)	ロンアン部会	JCCH
	明成ベトナム開所式典	ロッテホテルサイゴン
	JVF記念シンポジウム・レセプション	レックスホテル
9日(土)	日越友好平和ぼんおどり大会	9月23日公園
9~10日(土~日)	ジャパンベトナムフェスティバル	9月23日公園
10日(日)	IT部会懇親ゴルフコンペ	ロンタンゴルフクラブ
	ホーチミン市部会懇親ゴルフコンペ	ソンベゴルフ場
11日(月)	川崎商工会議所ミッション団との夕食会	シェラトンサイゴン
12日(火)	川崎市産業振興財団ミッション団へのレクチャー	JCCH
13日(水)	日本人学校卒業式	同校
	日越共同イニシアティブ小委員会	JCCI+WEB開催
	JCCH日越50周年事業特別委員会	JCCH+WEB開催
14日(木)	ふらっとJCCH	ピザ4P's
	建設・ビンズン合同部会、懇親会	メトロポール
	ホーチミン市人民委員会とのFDI会合	レックスホテル
15日(金)	国際金融情報センターとの意見交換	JCCH
	第一・第二サービス・IT合同部会	ロッテホテルサイゴン
	元日本留学生会総会	総領事公邸
17日(日)	ロンアン省人民委員会との懇親ゴルフコンペ	同省
18日(月)	組織・規約委員会	JCCH
	執行役員会	JCCH
19日(火)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
20日(水)	第2回バリアブンタウ省人民委員会とのラウンドテーブル	同委員会庁舎
	貿易・金融保険合同部会、懇親会	ホテルニッコーサイゴン
21日(木)	部会長会	パレスホテル
	理事会	パレスホテル
	スポーツ・文化委員会	ホテルニッコーサイゴン
22日(金)	ホーチミン市部会	WEB開催+ザ リバーオリエンタル
	企業交流委員会	ホテルニッコーサイゴン
26日(火)	運輸部会	WEB開催
	兵庫県立大学へのレクチャー	JCCH
	ドンナイ部会	サイゴンホテル
27日(水)	日越共同イニシアティブ新第1フェーズキックオフ会合	ハノイ
	タントアン・リンチュン部会	TTCホテル会議室
28日(木)	ドンナイ省人民委員会とのFDI企業との会合	同省
	経団連ミッション団との夕食会	ハノイ
30日(土)	バリアブンタウ省マスタープラン発表会	同省

役員・委員一覧（2024年3月時点）

会頭	水嶋 恒三	（双日ベトナム）
副会頭	松本 暢之	（JETROホーチミン事務所）
	古澤 康之	（イオンベトナム）
	中川 幹久	（長島・大野・常松法律事務所）
	小野瀬 貴久	（EYベトナム）
	和田 正明	（みずほ銀行）
監事	畠山 央	（三井住友銀行）
事務局長	小浜 光（～2023年5月）	（大阪商工会議所）
	上田 真也（2023年6月～）	（大阪商工会議所）

委員会名	委員長	副委員長	委員
事業環境委員会	中川 幹久 （長島・大野・常松法律事務所）	小野瀬 貴久 （EYベトナム）	池田 重之 （ベトナム三菱商事） 新田 和男 （オリンパスベトナム） 下山 彰宏 （双日ベトナム） 波多野 直也 （三菱UFJ銀行） 笠島 信幸 （JETROホーチミン事務所） 小川 めぐみ（～2023年9月） （在ホーチミン日本国総領事館）
労務委員会	新田 和男 （オリンパスベトナム）	中川 幹久 （長島・大野・常松法律事務所）	小野瀬 貴久 （EYベトナム） 大矢 和秀 （西村あさひ法律事務所） 三木 康史 （アンダーソン・毛利・友常法律事務所） 井田 浩司 （JETROホーチミン事務所） 望月 大輔 （日星電気ベトナム） 武村 先 （出光興産ホーチミン鉱業所） 宮浜 健一 （エスファイブサイゴン） 安井 悦也 （ビナエコボード） 大谷 義行 （KYCベトナム光洋機械産業） 児玉 圭太 （VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL） 荒井 泰資 （ベトナム日本製鉄） 藤井 博之 （オリンパスベトナム）
税務・通関 委員会	小野瀬 貴久 （EYベトナム）	渡邉 洋平 （ドラゴンロジスティクス）	（税務）高田 真 （エスコンサルティングベトナム） （税務）鶴田 明久 （AGS ACCOUNTING） （税務）古屋 秀規 （KPMG） （税務）高野 宏太 （EY ベトナム） （税務）仁科 仁 （グラントソントンベトナム） （税務）小山 誠祐（～2023年7月） （PwCベトナム） （通関）高橋 正明 （郵船ロジスティクスベトナム　ホーチミン支店） （通関）廣田 弘毅 （山九ベトナム） （通関）阿部 浩明（～2023年6月） （JETROホーチミン事務所） （通関）新田 和葉（2023年8月～） （JETROホーチミン事務所）
生活環境 委員会	池田 重之 （ベトナム三菱商事）	井上 玄 （～2023年8月） （ホテルニッコーサイゴン） 村田 雄一 （2023年9月～） （ホテルニッコーサイゴン）	佐藤 浩一 （在ホーチミン日本国総領事館） 須田 百合子 （ホテルニッコーサイゴン） 本多 知恵 （ロジテムベトナム） 山西 敢 （JTB-TNT） 河内 綾夏 （コニカミノルタベトナム） 高橋 亜里沙 （パソナテックベトナム）

（順不同）

委員会名	委員長	副委員長	委員
社会貢献 委員会	臼井 勝彦 （サッポロベトナム）	前田 瞳美 （～2023年8月） （ALSOKベトナム セキュリティサービス） 松谷 亮 （2023年9月～） （弁護士法人One Asia ベトナムオフィス）	赤木 友架理（国際交流基金ベトナム日本文化交流センター） 白石 英之（在ホーチミン日本国総領事館） 小嶋 洋史（サッポロベトナム） グエン・テュエン（三井住友銀行） 小穴 健悟（三井住友銀行） ヂョン・マン・ホウン（マイナビ　ホーチミン駐在員事務所） 和田 健一郎（インターフード） グエン・リナ（ユナイテッドインシュランスカンパニーオブベトナム） 福元 彩（～2023年12月）（ユナイテッドインシュランスカンパニーオブベトナム） 中野 京子（ロッテホテルサイゴン） 伴 遥奈（双日ベトナム） 柴山 和陽（パーソルベトナム） 村上 拡介（～2023年6月）（BDOコンサルティングベトナム） 高橋 理恵（2024年1月～）（アビームコンサルティング） 松本 瑞代（ウエストコーストデンタルクリニック）
スポーツ・文化 委員会	福西 英和 （～2023年10月） （ビナ・キョウエイ・スチール） 小野瀬 貴久 （2023年11月～） （EYベトナム）	小野瀬 貴久 （2023年11月～委員長と兼務） （EYベトナム）	升本 草原（セコムベトナムセキュリティサービス） 岩崎 鉄平（セコムベトナムセキュリティサービス） 昆野 諒介（EYベトナム） 小野 未来（～2023年6月）（EYベトナム） 檜垣 柚（AABベトナム） 山口 晋平（キユーピーベトナム） 中村 伸（三菱UFJ銀行） 吉川 千尋（双日ベトナム） 木戸 将紀（伊藤忠丸紅鉄鋼ベトナム会社） 成瀬 博和（～2023年10月）（ビナ・キョウエイ・スチール） 若原 康将（三井物産ベトナム） 堀江 勇輝（東京海上日動） 宮浜 健一（エスファイブサイゴン） 新井 咲里（日本ベトナム肥料） 光田 佳史（日鉄物産ベトナム） 松本 暁（豊田通商インシュアランスブローカー） 森田 淳（みずほ銀行）
日本人学校運営 委員会	上阪 克之 （全日本空輸）	平田 周二 （ベカメックス東急）	豊嶋 俊彦（ホーチミン日本人学校 校長） 篠田 千明（ホーチミン日本人学校 PTA会長） 下山 彰宏（双日ベトナム） 三輪 佳彦（ベトナム三菱商事） 嶋津 敬（三井住友銀行） 小林 功典（安藤・間 ホーチミン駐在員事務所）
企業交流 委員会	平田 智有 （ゼンショーベトナム）	工藤 拓人 （キャストグローバルベトナム）	松本 暢之（JETROホーチミン事務所） 加賀本 崇至（三菱地所ベトナム） 監物 秀樹（VJCC） 渡辺 紀秋（カメイベトナム） 横井 仁和（サッポロベトナム） 井上 玄（～2023年8月）（ホテルニッコーサイゴン） 村田 雄一（2023年9月～）（ホテルニッコーサイゴン） 須田 百合子（ホテルニッコーサイゴン） 井中 冴香（アイコニック） 鈴木 杏里紗（エヌエヌエーベトナム） 中野 葉月（ピープルリンク） 森 奏子（ゼンショーベトナム）

（順不同）

委員会名	委員長	副委員長	委員
広報委員会	岩本 英久 （東京海上ベトナム）	藤島 洋 （ALSOKベトナム セキュリティサービス） 大木 直伸 （ベトナム住友商事）	金山 純　（三谷産業ホーチミン駐在員事務所） 渡辺 あきえ　（弘亜社ベトナム） 櫻井 岳幸　（バイタリフィアジア） 福田 賀優　（オロ・ベトナム） 坂本 隆太　（サクラエコロジー） 白石 英之　（在ホーチミン日本国総領事館） 丸山 誠史　（ALSOKベトナムセキュリティサービス） 黒田 駿介　（全日本空輸） 山下 葵　（バイタリフィ・アジア） 奥田　梨紗　（バイタリフィ・アジア） 野田 恵里子　（サフェックストレーディング） 中村 正樹　（電通ベトナム） 村田 航輝　（東京海上ベトナム）
組織・規約 委員会	和田 正明 （みずほ銀行）	岡田 英之 （TMI総合法律事務所） 荒井 泰資 （ベトナム日本製鉄）	春本 洋一　（双日ベトナム） 水上 貴博　（第一生命ベトナム）
日越外交関係樹立 50周年記念事業 （特別）委員会	古澤 康之 （イオンベトナム）		白石 英之　（在ホーチミン日本国総領事館） 増田 親弘（～2023年7月）（独立行政法人国際協力機構） 唐澤 雅幸（2023年8月～）（独立行政法人国際協力機構） 宮城 孝浩　（日本航空） 平櫛 開三　（AABベトナム） 阪本 強　（セコムベトナムセキュリティサービス） 坪田 裕也（～2023年8月）（東京海上ベトナム） グエン・フォーン・ニー（ジャパンベトナムライブストック） 南 景美　（イオンベトナム）

（順不同）

部会理事一覧（2024年3月時点）

商工部会	理事定数	部会長	副部会長	理事
貿易部会	5	大木 直伸 （ベトナム住友商事）	山本 亮太 （リコーベトナム）	篠宮 大　（日鉄物産ベトナム） 江利川 聡彦　（豊田通商ベトナム） 白木 友宏　（丸紅ベトナム）
建設部会	4	今村 年秀（～2023年9月） （ダイワハウスベトナム） 佐々木 博和（2023年10月～） （ダイワハウスベトナム）	平原 直征 （岡三リビックベトナム）	綱川 登志雄　（ソーウェル ベトナム） 猪股 信二　（日建インターナショナルアジア）
運輸部会	3	宮城 孝浩 （日本航空）	小林 貴一郎 （ユーピーアールベトナム）	登 憲一郎　（ロジスティードベトナム）
第一サービス部会	4	野田 恵里子 （サフェックストレーディング）	工藤 拓人 （キャストグローバルベトナム）	横山 和寿　（横山会計ベトナム） 越前谷 学　（ナビゴスグループ）
第二サービス部会	3	藤島 洋 （ALSOKベトナムセキュリティサービス）	中村 正樹 （東急ディベロップメント）	西條 友重　（JTB-TNT）
IT部会	4	岸菜 圭一郎 （ベトナムキューブシステム）	角田 尊和 （ケイディディアイベトナム）	グェンタントン　（システムエグゼベトナム） 阪本 憲成（～2023年12月）（ルネサスデザインベトナム） 濱谷 直人（2024年1月～）（NECベトナム）
金融・保険部会	3	埜崎 孝雄 （三菱UFJ銀行）	谷口 昇（～2024年1月） （ジャックスインターナショナルベトナムファイナンス） 成田 力（2024年2月～） （ジャックスインターナショナルベトナムファイナンス）	近藤 賢一　（三井住友海上ベトナム）
ホーチミン市部会	4	坂野 慎後 （富士フイルムビジネス イノベーションベトナム）	芳木 泰正 （JFEスチールベトナム）	浦田 賢　（三菱電機ベトナム） 武村 先　（出光興産ホーチミン鉱業所）
タントアン・リンチュン部会	3	青山 光延（～2023年10月） （古河オートモーティブパーツ） 秋本 浩（2023年11月～） （UACJ）	石田 博行（～2023年7月） （ジューキベトナム） 望月 大輔（2023年10月～） （日星電気ベトナム）	村田 規明（～2023年9月）　（サイゴンプレシジョン） 下村 嘉史（2023年11月～）　（サイゴンプレシジョン）
ビンズン部会	5	長戸 隆彦 （ベカメックス東急）	永田 勝則 （シャープ マニュファクチャリングベトナム）	白子 修　（トーモクベトナム） 宮浜 健一　（エスファイブサイゴン） 酒匂 孝教　（キングジムベトナム）
ドンナイ部会	5	古川 裕二 （YKKベトナム）	坂井 史絵 （共同印刷ベトナム）	福島 康夫　（クレハベトナム） 大谷 義行　（KYCベトナム光洋機械産業） 福宿 伸一郎　（コーケンベトナム）
ロンアン部会	2	安井 悦也（～2024年3月） （ビナエコボード） 原田 昌平（2024年4月～） （双日協同飼料）	三上 泰史 （コガネイベトナム）	
バリアブンタウ部会	2	青山 芳朗 （双日大阪ガスエネルギー）	竹野 建二 （エスエムシートーアミ）	

（順不同）

THE JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY IN HO CHI MINH CITY

ホーチミン日本商工会議所

住　所　：1407 Sun Wah Tower, 115 Nguyen Hue, Dist. 1, HCMC, Vietnam

電　話　：(84) 028-3821-9369

ファックス：(84) 028-3821-9370

業務時間：月曜日～金曜日　8:30～12:00, 13:30～17:00

休　日　：土曜日、日曜日、ベトナム国の定める祝日、12月29日～1月3日

E-mail　：info@jcchvn.org（日本語、英語、ベトナム語可）

Website：https://jcchvn.org/

FaceBook：https://www.facebook.com/JCCH.ORG/

JCCHホームページ　JCCHフェイスブック